

岡山醫學會雜誌第四百二十七號

大正十四年八月三十一日發行

OKAYAMA-IGAKKAI-ZASSHI

Nr. 427, Aug. 31, 1925

原 著

諸種疾患ニ於ケル脉絡叢ノ病理學の所見

九州帝國大學醫學部病理學教室

池 田 正 夫

(本論文ハ大正13年4月4日大阪ニ於テ開カレタル第14回日本病理學會總會ニ於テ其大體ヲ發表セリ。)

目 次

第一章 緒 論.

第二章 検査法.

第三章 各検査例ノ顯微鏡の所見.

一、結核性腦膜炎. 二、ロイル氏病. 三、化膿性腦膜炎. 四、流行性腦脊髓膜炎. 五、腦炎、腦膜炎. 六、腦腫瘍. 七、狂犬病. 八、敗血症. 九、其他.

第四章 總括的觀察.

附. (一)脉絡上皮細胞ノ黃色々素粒ニ就キテ.

(二)石灰沈着ニ就キテ. (三)澱粉樣體ニ就キテ. (四)老人性變化ニ就キテ

第五章 結 論.

文獻及ビ附圖説明.

第一章 緒 論.

精神病ニ於ケル脉絡叢ノ病理學的變化ニ關シテハ從來幾多ノ人々ニヨリ詳細檢索サレ、今ヤ殆ド研究ノ餘地無キ迄ニ闡明スルニ至レリ。然レドモ精神病以外ノ疾患ニ關シテハ其検査サレタル例證今日迄甚ダ僅少ナルヲ以テ、余ハ精神病以外ノ疾患ト脉絡叢トハ如何ナル關係ヲ有スルヤヲ知ラント欲シ、以下十五種類餘ノ疾患188例ニ就キテ詳細之ヲ検査シタルヲ以テ茲ニ其所見ヲ記載シ識者ノ高教ヲ仰ガントス。

第二章 検査法

研究法トシテハ主トシテ大脳側室ノ脉絡叢ヲ選ビ、又第四脳室ノ脉絡叢ヲモ検査ニ供セリ。材料ハ殆ド總テ、10%「フォルマリン」ニ貯藏シタルモノヲ使用シ、又一部ハOrth氏液ニ保存セシ後或ハ直チニ氷結切片トシ又ハ粉碎シテ鏡檢ニ資セリ。包埋法ニハ「チェロイジン」及ビ「パラフィン」ヲ用ヒタリ。染色法トシテハ「ヘマトキシリン」「エオジン」重複染色、Nissl氏染色、Heidenhain氏鐵「ヘマトキシリン」染色、Weigert氏彈力纖維染色法及ビvan Gieson氏纖維染色法ヲ行ヒ、且特殊染色法(色素顆粒ノ部參照)モ時々之ヲ應用シタリ。

第三章 各検査例ノ鏡檢所見

(一) 結核性腦膜炎

第129例. 青〇留〇. 男. 31歳. 死後15時間ニシテ解剖ニ附セリ。

臨牀的診斷. (1) 結核性腦膜炎. (2) 左側濕性肋膜炎.

剖檢的診斷. (1) 結核性腦膜炎. (2) 肺、肝及ビ脾臓ノ粟粒結核. (3) 左側纖維性肋膜炎.

病歴. 5月中旬ヨリ咳嗽咯痰ヲ爲シ時々寒氣アリ。5月末ヨリ食後嘔吐ヲ來シ發熱 37.5°C ニ達ス。6月4日入院。6日午前5時頃ヨリ嗜眠狀態ニ陥リ、項強(Nackenstarre)及ビKernig氏症狀現ハレ腦壓300 cm.(水柱)ヲ算セリ、爾來衰弱漸次ニ加ハリ6月22日終ニ死亡セリ。

鏡檢所見. 脉絡上皮細胞ハ一部ハヨリ保持サレ、密ニ相隣坐シ且互ニ壓迫サレ上皮間相互ノ境界不明トナリ、一部ハ腫脹甚シク高圓柱狀又ハ類圓形ヲナシ寧ロ疎ニ連坐セリ。核ハ一般ニ胞體ノ基底ニ位置ス。原形質ハ微細ナル顆粒狀構造ヲ現ハシ、多數ノ空胞ト黃色々素粒ヲ含有セリ。又胞體ノ破壞サレ或ハ大ナル空胞ニ滿サレ又ハ核ヲ失ヘルモノアリ。細胞核ハ一般ニ濃染セリ。而シテ上皮間ニハ諸所白血球侵入セリ。

絨毛基質ハ極メテ鬆粗ニシテ、殆ド核無ク披裂(Dehiszent)又ハ包囊(Cyste)ヲ形成セリ。而モ既ニ諸所同質性(Homogenisierung)ニ陥レリ。動脈、靜脈及ビ毛細管ハ甚シク擴張シ壁ハ肥厚ヲ來シ、血管内被細胞ハ淡染シテ腫脹著シ。又諸所ニ層積狀石灰沈着及ビ澱粉樣小體存在シ、「エオジン」嗜好細胞モ亦出現セリ。

無絨毛部ノ鬆粗ナル結締組織ニハ血管ノ充血著シク且顯著ナル圓形細胞ノ浸潤アリ。而シテ諸所ニ多數ノ結核竈存在ス。其定型的ナルモノニ於テハLanghans氏型巨大細胞ヲ有シ壞死ニ陥レル廣キ中心部ヲ圍繞シテ多數ノ上皮樣細胞現ハレ、其外圍組織ハ通常俄ニ鬆粗トナリ、此處ニ無數ノ單核白血球、淋巴球、「プラスマ」細胞等ノ著明ナル浸潤ヲ來セリ。加フルニ此部ニハ無數ノ巨大貪食細胞群集シ其貪食現象ヲ逞シクセリ。又屢々浸潤部ニ赤血球溢出シ、絨毛腔ニ多量ノ纖維素析出ヲ伴ヘリ。其他絨毛外ニハ著シキ剝離上皮細胞及ビ其破壞產物存在ス。

第74例. 山〇ア〇. 女. 16歳. 死後14時間ニシテ剖屍セリ。

臨牀的診斷. 結核性腦膜炎.

剖檢的診斷. (1) 結核性腦脊髓膜炎. (2) 肺、肝、脾及ビ腎臓ノ粟粒結核其他.

病歴. 3月20日以來頭痛ヲ感シ、1週日ヲ經ルモ尙ホ頭部及ビ腰部ノ發痛甚シク終ニ臥床ス。4月10日ニ至

リ全ク嗜眠状態ニ陥レリ。嘔吐ヲ缺ク。意識ハ入院後、死ニ至ル迄殆ド明カナラズ。只腰椎穿刺ノ直後稍々明カナルガ如シ。Kernig 氏症狀及ビ項強モ亦死前2日間稍々輕快シタリシニ過ギズ。6月15日死亡セリ。

鏡檢所見。 脉絡叢絨毛ハ殆ド到ル所極メテ著明ナル圓形細胞ノ浸潤ヲ被リ、一部ノ絨毛ノ如キハ著シキ浸潤ノ爲、上皮細胞全ク陰蔽セラレ、或ハ破壊サレテ其構造ヲ失ヘリ。又諸所ニ大小出血ヲ來セリ。

脉絡上皮細胞ハ一部ハ基シク腫脹シ、高圓柱狀ヲ示シ而モ疎ニ相隣坐セリ。原形質ノ構造ハ一般ニ不著明ナレドモ、一部ハ顆粒狀構造ヲ現ハシ、小空胞及ビ黃色々素粒ヲ含有ス。核ハ圓形ニシテ濃染セリ。絨毛基質ハ鬆粗ニシテ諸所披裂ヲ來シ、而モ已ニ絨毛頂ハ同質性ニ陥レリ。且往々「エオシン」嗜好細胞出現セリ。血管ハ充血甚シク石灰沈着ハ少量ナリ。無絨毛部ニハ前例ニ似テ顯著ナル細胞浸潤ヲ來シ、内ニ結核性肉芽組織ヲ形成シ、多數ノ大食喰細胞出現セリ。絨毛外ニハ喰細胞、多數ノ剝離上皮細胞及ビ赤血球ノ溢出等存在セリ。

第103例。山〇ス〇。女。22歳。死後19時間ニシテ解剖ニ附ス。

臨牀的診斷。 (1) 結核性腦膜炎。(2) 肺結核。(3) 結核性肋膜炎。(4) 化膿性腹膜炎。

剖檢的診斷。 (1) 大脳及ビ小脳ノ結核性腦膜炎。(2) 其他内臟諸臟器結核。

病歴。 5月28日出産後、發熱及ビ胸痛ヲ起シ、同時ニ腹部ノ膨大ヲ來セリ。翌月24日内科 Klinik ニ收容ス。入院後腹部ノ膨大益々加ハリ、發熱、胸痛及ビ呼吸困難ハ依然トシテ減退セズ。7月3日腹部穿刺ヲ行ヒ純膿樣帶黃綠色ノ液2600cc.ヲ攝取セリ。同10日腦壓350cm.(水柱)ヲ算シ、腦膜症狀ノ下ニ死亡セリ。

鏡檢所見。 叢上皮細胞ハ高圓柱狀或ハ類圓形ニ腫脹セリ。原形質ハ或ハ蜂窩狀(Wabigestructur)或ハ顆粒狀構造ヲ現ハシ、稀ニ空胞及ビ黃色々素粒ヲ包藏セリ。絨毛基質ハ稍々顯著ナル、主トシテ上皮下ニ沿フ浸潤ヲ呈セリ。基質ハ極メテ鬆粗ニシテ同質性高度ナリ。「エオシン」嗜好細胞稀ニハ「マスト」細胞出現セリ。

無絨毛部ノ鬆粗ナル結締組織ハ充血著シク且顯著ナル細胞浸潤ヲ來セリ。大食喰細胞、「プラズマ」細胞甚ダ多數ニシテ且無數ノ赤血球ヲ混在セリ。澱粉樣小體多量ナリ。絨毛外ニハ剝離上皮細胞及ビ其破壊產物、赤血球溢出等アリ。

第125例。古〇壽。男。28歳。死亡後24時間目ニ剖檢ス。

臨牀的診斷。 結核性腦膜炎。

剖檢的診斷。 (1) 結核性腦底硬膜炎。(2) 結核性脊髓硬膜炎及ビ軟膜炎。

病歴。 3月10日頭部激シク發痛シ熱感ヲ爲ス。其後發熱 38—39°C ニ及ベリ。23日譫語ヲ發シ意識濁濁セリ。翌日入院ス。Kernig 氏症狀及ビ項強現ハレ腰椎穿刺ヲ行フ。腦壓450cm. 28日ニハ670cm.ヲ算シ、液内ヨリ結核菌ヲ證明セリ。29日死亡ス。

鏡檢所見。 脉絡上皮細胞ハ一般ニ腫脹著シク原形質ハ著明ナル網狀構造ヲ現ハシ、黃褐色々素粒ト空胞トヲ有ス。核ハ濃染セリ。絨毛基質ハ極メテ鬆粗ニシテ殆ド核無ク、披裂及ビ包囊ヲ形成セリ。而モ同質性高度ニシテ又諸所ニ著明ナル石灰沈着ヲ來セリ。血管ノ充血甚シ。

無絨毛部ノ鬆粗結締組織ハ血管ニ富ミ著明ナル圓形細胞浸潤ヲ來シ内ニ結核ヲ形成セリ。其變化全ク第1例ニ等シ。又澱粉樣小體存在ス。絨毛外ニハ無數ノ紅白血球及ビ剝離上皮細胞及ビ喰細胞等存在セリ。

第88例。稻〇七〇。女。19歳。死後3時間ニシテ解剖ニ附セリ。

臨牀的診斷。 結核性腦膜炎。

剖檢的診斷。 (1) 結核性腦脊髓膜炎。(2) 内腦水腫。

病歴。 4月10日輕熱ヲ發シ、翌日頭痛、惡心及ビ嘔吐アリ、21日入院ス。嘔吐ハ25日迄繼續セリ。29日項

強及ビ尿失禁現ハレ意識瀾濁ス。翌日腰椎穿刺ヲ行フ。腦壓 430 cm. ニシテ Nonne 陽性ナリ。5月8日病状悪化シ腦壓 365 cm. ナ算シ、腦脊髄液ヨリ結核菌ヲ證明セリ。9日突然 Cyanose ナ現ヘシ死亡セリ。

鏡檢所見。 無絨毛部ニ於ケル變化ハ前例同様ニ著明ナル浸潤ヲ來シ、乾酪化セル結核ヲ形成シ、大食喰細胞ノ群集著シ。絨毛基質ハ極メテ疎ニシテ絨毛頂ハ已ニ同質性トナリ、「エオジン」嗜好細胞稍々多數出現セリ。脉絡上皮細胞ハ一般ニ腫脹シ疎大 (grob) 顆粒狀構造ヲ現ハシ、稀ニ大ナル空胞ト黃色々素粒ト有シ、上皮ノ一部ハ變質ヲ來セリ。又一部ノ絨毛ニハ著明ナル細胞浸潤ヲ來セリ。其他絨毛外ニハ多數ノ剝離上皮細胞及ビ喰細胞存在ス。

第 78 例。平〇ヲ〇。女。17 歳。死後 17 時間剖檢。

臨牀的診斷。 (1) 粟粒結核。(2) 結核性腦膜炎

剖檢的診斷。 (1) 結核性腦膜炎。(2) 脾及ビ腎臟ノ粟粒結核。(3) 肺、腸其他ノ結核。

病歷。 本年 4 月以來咳嗽、發熱 (39°C) 及ビ全身違和ヲ感シ、癲癇様發作ヲ來セリ。6月19日筋肉強硬及ビ Kernig 氏症狀現ハル。21日嘔吐 (三回) ナ來シ、翌日ハ十數回ニ及ビ發熱 40°C 以上ニ達セリ。26日痛覺過敏 (Hyperaesthesia) 及ビ吃逆ヲ發シ、28日項強現ハル。7月1日意識瀾濁シ、3日昏睡狀態ニ陥リ終ニ翌日死亡セリ。

鏡檢所見。 脉絡上皮細胞ハ甚シク腫脹シ、高サ 21 μ . 幅 15 μ . ナ算スル高圓柱狀ナリシ、核ハ基底ニ位ス。原形質ハ網狀構造ヲ現ハシ、數箇ノ粗大空胞ト黃色々素粒ヲ含有ス。絨毛基質ハ鬆粗ニシテ諸所硬變ニ陥リ、血管ノ充血甚シ。無絨毛部ニ於ケル細胞浸潤ハ極メテ輕度ナルモ澱粉様小體存在ス。又絨毛ノ一部ニ限局セル小膿瘍ヲ來セリ。其他絨毛外ニハ剝離上皮細胞及ビ血球溢出等アリ。

第 92 例。村〇キ〇。女。20 歳。死後 21 時間目ニ解剖セリ。

臨牀的診斷。 (1) 結核性腦膜炎。(2) 脊椎「カリエス」。(3) 陳久性肋膜炎。

剖檢的診斷。 (1) 結核性腦脊髄膜炎。(2) 脊椎「カリエス」。

病歷。 5月30日頭痛、惡寒及ビ發熱アリ、且往々眩暈羞明加ハリ、次テ高熱 (38°C) ナ發セリ。6月6日入院ス。同日烈シキ頭痛、羞明ヲ感シ Kernig 氏症狀及ビ項強現ハル。7日腰椎穿刺ヲ行フ。腦壓 260 cm. (水柱)。13日 600 cm. ナ算セリ。16日ヨリ意識不明トナリ翌日死亡セリ。

鏡檢所見。 脉絡叢上皮細胞原形質ハ顆粒狀構造ヲ現ハシ、粗大空胞ト色素顆粒トヲ包藏ス。核ハ殆ド正常ナリ。絨毛基質ハ極メテ鬆粗ニシテ而モ同質性ニ陥リ、血管周圍淋巴腔ニハ少數ノ白血球存在シ、稍々大ナル血管ノ周圍ニハ稍々密ナル細胞浸潤ヲ來セリ。無絨毛部ニハ Langhans 氏型巨大細胞ヲ有スル二三ノ結核ヲ形成シ、周圍ニ纖維素ノ析出ヲ來シ、多數ノ大食喰細胞及ビ紅白血球混合セリ。又少量ノ石灰沈着澱粉様小體及ビ多數ノ剝離上皮細胞存在ス。

第 156 例。田〇末〇。男。45 歳。死後 21 時間剖檢。

臨牀的診斷。 結核性腦膜炎。

剖檢的診斷。 (1) 大腸及ビ脊髄ノ漿液化膿性軟腦膜炎。(2) 右側小腦軟化。

病歷。 7月3日惡寒戰慄、頭痛及ビ全身違和ヲ感シ、時々嘔吐ヲ來セリ。10日ヨリ意識瀾濁シ、11日入院ス。其後麻痺症狀著明トナリ、12日朝 Cheyne-Stokes 氏呼吸現ハレ、午後終ニ死亡セリ。

鏡檢所見。 脉絡上皮細胞原形質ハ一般ニ顆粒狀構造ヲ現ハシ、極メテ多量ノ黃色々素粒ト僅少ノ空胞トヲ有ス。核ハ稍々濃染セリ。絨毛基質ハ殊ニ上皮境界ニ沿ヒ、殆ド到ル所著明ナル單核細胞浸潤又ハ膿球細胞ノ

浸潤ヲ來シ、又大出血ヲ招來セリ。基質ハ極メテ鬆粗ニシテ血管壁ハ肥厚セリ。絨毛間腔ニハ諸所膿瘍物質(Eitermasse)ヲ附着シ且纖維素ノ析出アリ。無絨毛部ニハ著明ナル細胞浸潤ヲ來シ、多數ノ大食喰細胞及ビ赤血球混在セリ。又一部ニハ多核白血球ノ浸潤ヲ來セリ。石灰沈着及ビ澱粉様小體ハ少量ナリ。

第85例。木○伊○。男。18歳。死後20時間ニシテ剖屍ス。

臨牀的診斷。 (1) 結核性腦膜炎。 (2) 急性氣管支炎。

剖檢的診斷。 (1) 結核性腦軟膜及ビ硬膜炎。 (2) 肺、肝、脾、肋膜、腎及ビ副腎ノ粟粒結核。 (3) 小腸、大腸、胃及ビ喉頭ノ結核性潰瘍。

病歴。 2月14日感冒ヲ病ミ、發熱及ビ頭痛アリ。21日入院ス。翌日服藥後嘔吐ヲ發シ、加フルニ頭痛増悪シ全ク就床ス。其後數々嘔吐ヲ來シ、次テ項強及ビ Kernig 氏症狀現ハレ、5月2日ヨリ意識濁濁ス、膝反射亢進セリ。4月30日腰椎穿刺ヲ行フ。腦壓180—110 cm. ニシテ液ハ潤潤シ Pleocytose (320 多クハ淋巴細胞)アリ、結核菌陰性ナリ。

鏡檢所見。 脉絡上皮細胞ハ一般ニ腫脹シ、空胞ヲ有シ、網様構造ヲ現ハセリ。絨毛内ニハ到ル所。著明ナル細胞浸潤ヲ來シ又大ナル出血竈存在ス。絨毛結締組織基質ハ極メテ鬆粗ニシテ稍々核ニ富ミ、而モ同質性ニ陥リ且血管ノ充血甚シ。無絨毛部ニハ Langhans 氏型巨大細胞ヲ具フル結核竈存在ス。其他澱粉様小體及ビ剝離上皮細胞存在ス。

第90例。吉○ミ○。女。20歳。死後16時間目ニ解剖ス。

臨牀的診斷。 結核性腦膜炎。

剖檢的診斷。 (1) 結核性腦膜炎。 (2) 肺、小腸及ビ腹膜ノ粟粒結核。

病歴。 1月27日頭痛ヲ起シ、時々昏憊狀態ニ陥レリ。2月8日入院ス。其後症狀惡化シ15日夜死亡セリ。

鏡檢所見。 脉絡上皮細胞ノ胞體ハ顆粒狀構造ヲ現ハシ、空胞ト色素粒トヲ包藏セリ。絨毛部ニハ諸所著明ナル細胞浸潤ヲ來シ、基質ハ一般ニ稍々核ニ乏シク、諸所同質化シ石灰沈着著シ。又數々「エオジン」嗜好細胞出現シ、血管ハ充血甚シ。無絨毛部ニハ Langhans 氏型巨大細胞ヲ有スル結核竈及ビ少量ノ澱粉様小體存ス。絨毛外ニハ食細胞及ビ剝離上皮細胞アリ。

第65例。五○孝。男。7歳。死後3時間ニシテ解剖ニ附セリ。

臨牀的診斷。 (1) 結核性腦膜炎。 (2) 左側結核性足關節炎。 (3) 右肺炎浸潤。

剖檢的診斷。 (1) 結核性腦膜炎。 (2) 肺結核。 (3) 結核性腸潰瘍。 (4) 腰椎「カリエス」等。

病歴。 6月1日左側結核性足關節炎ノ手術ヲ受ケ、同5日ヨリ 38°—39°C ノ發熱ヲ來セリ。15日入院ス。腰椎穿刺ノ結果結核性腦膜炎ト診斷ス。25日ニ至リ意識濁濁シ痙攣發作ヲ起ス。爾來漸次衰弱シ終ニ7月6日死亡セリ。

鏡檢所見。 脉絡叢ハ絨毛ニ富ミ充血顯著ナリ。叢上皮細胞ハ何レモ腫大シ原形質ハ微細ナル網様構造ヲ現ハシ、稀ニ粗大空胞ヲ保有ス。核ハ濃染セリ。絨毛基質ハ甚ダ疎ナルモ絨毛頂ハ既ニ同質性ナリ。絨毛ハ諸所細胞浸潤ヲ被リ、且血管壁ハ石灰化セリ。無絨毛部ニハ主ニ上皮様細胞ヨリナル結核竈ヲ藏スル顯著ナル浸潤ヲ來セリ。絨毛外ニハ無數ノ赤血球溢出及ビ剝離上皮細胞存在セリ。

第115例。箱○輝○。女。26歳。死後20時間剖檢。

臨牀的診斷。 (1) 結核性腦膜炎。 (2) 脊椎「カリエス」。

剖檢的診斷。 (1) 結核性軟腦膜炎。 (2) 薦骨結核。 (3) 兩側腸腰筋流注膿瘍。

病歴 3月12日入院ス。翌日腰椎穿刺ヲ行フ。夕刻ヨリ Cheyne-Stokes 氏呼吸ヲ來シ、昏睡状態ニ陥レリ。14日昏睡ヨリ醒ム。20日再び昏睡状態ニ陥リ終ニ22日死亡セリ。

鏡檢所見 脉絡上皮細胞ハ一部ハ密ニ一部ハ疎ニ相隣坐シ、原形質ハ一般ニ顆粒狀構造ヲ現ハシ、黄色々素粒ト空胞トヲ有ス。絨毛基質ハ甚ダ疎ニシテ且諸所硬變ニ陥レリ。血管ハ充血擴張顯著ニシテ、其壁肥厚セリ。稀ニ「エオジン」嗜好細胞存在ス。一部ノ絨毛ニハ著明ナル圓形細胞浸潤ヲ來セリ。無絨毛部ニモ亦同様に顯著ナル細胞浸潤アリ、且結核ヲ形成セリ。絨毛外ニハ多數ノ剝離上皮細胞及ビ大食細胞存在セリ。

第72例 小〇エ〇 女 14歳

臨牀的診斷 (1) 結核性腦膜炎 (2) 頸椎「カリエス」 (3) 咽頭後膿瘍

剖檢的診斷 腦底結核性腦膜炎

病歴 不詳

鏡檢所見 脉絡上皮細胞ハ腫脹著明ニシテ而モ疎ニ連坐セリ。原形質ハ一部ハ蜂窩狀構造一部ハ疎大顆粒狀構造ヲ現ハシ、空胞ト黄色々素粒トヲ包藏セリ。核ハ圓形ニシテ濃染セリ。上皮間ニ侵入セル血球諸所ニ觀察サル。血管ハ充血甚シク、壁肥厚セリ。絨毛組織ハ核ニ乏シク疎ナリ、而モ絨毛頂ノ同質性年齢ニ比シ高度ナリ。絨毛ハ到ル所著明ナル細胞浸潤ヲ來シ、殊ニ一部ニハ結核ヲ形成セリ。又多數ノ石灰沈著殊ニ腦砂ヲ形成セリ。無絨毛部ニモ亦顯著ナル浸潤ヲ來シ多數ノ喰細胞混在セリ。又剝離上皮細胞多數存在ス。

第95例 山〇康〇 男 21歳 死後12時間ニシテ解剖ニ附ス。

臨牀的診斷 結核性腦膜炎

剖檢的診斷 (1) 粟粒結核性腦膜炎 (2) 兩肺粟粒結核 (3) 小腸及ビ直腸粘膜ノ結核性潰瘍其他

病歴 4月中旬ヨリ頭痛、發熱(37°—38°C)ヲ起シ5月6日入院ス。次テ項強 Kernig 氏症狀現ハレ、腰椎穿刺ヲ行フ。腦脊髄液ヨリ結核菌ヲ證明セリ。17日心臓衰弱ニヨリ死亡ス。

鏡檢所見 叢ハ絨毛及ビ血管ニ富ミ充血著シ。絨毛基質ハ殆ド核無ク極メテ鬆祖ナリ。而モ絨毛頂ハ同質化シ、一部ハ結締組織ノ増殖ヲ來セリ。脉絡上皮細胞ハヨク保持サレ居ルモ稍々平等ニ腫脹シ原形質ハ微細ナル顆粒狀構造ハ現ハシ、黄色々素粒ト往々大ナル空胞ヲ藏セリ。核ハ圓形ニシテ濃染セリ。無絨毛部ニハ結核ヲ形成シ著明ナル細胞浸潤ヲ來セリ。其他石灰沈着及ビ澱粉樣小體存在ス。絨毛外ニハ剝離上皮細胞及ビ血球溢出等アリ。

第126例 笹〇イ〇 女 29歳 死後22時間ニシテ解剖ス。

臨牀的診斷 結核性腦膜炎

剖檢的診斷 (1) 粟粒結核性腦膜炎 (2) 兩側肺、肝、腎臓ノ粟粒結核其他

病歴 大正12年10月18日夜ヨリ發熱シ、翌日頭部發痛ス。其後一時小康ヲ得タルガ25日再び烈シキ頭痛、嘔吐及ビ發熱ヲ來シ、意識濁シ。翌日入院ス。意識濁シ Kernig 氏症狀及項強現ハレ終ニ11月7日死亡ス。

鏡檢所見 脉絡上皮細胞ハ規則正シク腫脹シ、原形質ハ一般ニ蜂窩狀構造ヲ現ハシ、黄色々素粒ト大小空胞トヲ有ス。絨毛基質ハ甚シク鬆祖、而モ硬變高度ニシテ一部ニハ結締組織ノ増殖ヲ來セリ。叢絨毛ハ血管ニ富ミ充血甚シク血球ヲ緊滿セリ。血管壁肥厚シ石灰沈着多量ナリ。無絨毛部ニハ極メテ擴大ニシテ而モ結核ヲ形成セル顯著ナル細胞浸潤存在シ、大食細胞群在セリ。絨毛外ニハ剝離上皮細胞存在ス。

第145例 木〇經〇 男 38歳

臨牀的診斷 結核性腦脊髄膜炎?

剖檢の診斷. (1) 原發性胃癌. (2) 副腎及ビ肝臓部淋巴腺ノ轉移性癌腫. (3) 結核性腦膜炎.

病歴. 不詳.

鏡檢所見. 絨毛基質ハ甚ダ鬆粗ニシテ諸所披裂ヲ來シ、血管壁肥厚セリ。血管ハ充血著シク「エオジン」嗜好細胞數々出現セリ。脉絡上皮細胞體ハ一般ニ蜂窩狀構造ヲ現ハシ、一部ハ粗大顆粒狀ヲ呈シ、空胞ト少量ノ黄色々素粒トヲ有シ、核ハ濃染セリ。絨毛基質ニハ諸所著明ナル細胞浸潤ヲ來シ、殊ニ一部ニハ結核ヲ形成セリ。無絨毛部ニハ同様ニ顯著ナル細胞浸潤ヲ來シ大食喰細胞群在シ、澱粉様小體亦存在ス。其他石灰沈着及ビ多數ノ剝離上皮細胞アリ。

第62例. 戸○葉○○. 男. 5歳. 死後19時間目解剖ス。

臨牀的診斷. 結核性腦膜炎.

剖檢の診斷. (1) 結核性腦膜炎. (2) 腦炎其他.

病歴. 不詳.

鏡檢所見. 脉絡叢ハ絨毛ニ富ミ、絨毛基質ニハ諸所著明ナル細胞浸潤ヲ來セリ。基質ハ核ニ富ミ血管ノ充血著シ。脉絡上皮細胞體ハ顆粒狀構造ヲ現ハシ、多數ノ粗大空胞ヲ保持ス。核ハ圓形ニシテ「クロマチン」ニ富メリ。又上皮間ニハ數々白血球介在セリ。無絨毛部ニハ更ニ顯著ナル圓形細胞浸潤アリ。Langhans氏型巨大細胞ヲ有スル結核ヲ形成セリ。石灰沈着少量ニシテ絨毛外ニハ剝離上皮細胞及ビ喰細胞存在ス。

第87例. 松○和○. 男. 19歳. 死後10時間ニシテ剖檢ス。

臨牀的診斷. 腦脊髄膜炎.

剖檢の診斷. (1) 肺, 肝, 脾, 腎, 副腎, 横隔膜等ノ粟粒結核. (2) 腦膜ノ粟粒結核.

病歴. 5月26日突然惡寒ヲ以テ發熱シ、頭痛嘔吐ヲ催シ意識潤濁セリ。且 Kernig氏症狀項強、脊椎強直、口唇紅行疹及ビ下肢ノ痛感過敏ヲ來セリ。腦壓350 cm.ヲ算シ、腦脊髄液ハ潤濁シ多核白血球、淋巴細胞多數ニシテ結核菌陰性ナリ。6月13日死亡ス。

鏡檢所見. 脉絡上皮細胞ハ著シク且平等ニ腫脹シ、疎ニ相隣坐セリ。其構造ハ粗大顆粒狀ニシテ大ナル空胞ト黄色々素粒トヲ有ス。絨毛基質ハ甚ダ鬆粗ニシテ、披裂及ビ包囊ヲ形成シ而モ絨毛頂ハ已ニ同質性ニ陷レリ。血管ハ一般ニ充血甚シク血管壁ノ肥厚ヲ來セリ。絨毛ニハ諸所著明ナル細胞浸潤ヲ來セリ。而モ更ニ顯著ナルハ無絨毛部ニ於ケル細胞浸潤ニシテ該浸潤部ニハ結核ヲ形成セリ。其他石灰沈着及ビ澱粉様小體多量ナリ。絨毛外ニハ多數ノ剝離上皮細胞及ビ大食喰細胞存在ス。

第142例. 龜○藤○郎. 男. 36歳. 死後5時間ニシテ解剖ニ附ス。

臨牀的診斷. (1) 結核性腦膜炎. (2) 肺結核.

剖檢の診斷. (1) 結核性腦膜炎. (2) 肺, 肝, 脾, 腎, 腹膜, 腸, 膀胱, 副腎, 甲狀腺及ビ膀胱等ノ粟粒結核其他.

鏡檢所見. 叢ハ頗ル血管豊富ニシテ充血甚シク、血管壁ハ肥厚セリ。石灰沈着又著シク所謂腦砂ヲ形成セリ。絨毛基質ハ核少ク、同質性高度ナリ。脉絡上皮細胞ハ何レモ平等ニ腫脹シ原形質ハ顆粒狀構造ヲ現ハシ、黄色々素粒ト多數ノ大空胞トヲ有シ細胞核ハ一般ニ濃染セリ。絨毛外ニハ剝離上皮細胞及ビ白血球溢出アリ。

第27例. 小○ス○. 女. 1年2箇月.

臨牀的診斷. 漿液性腦膜炎.

剖檢の診斷. (1) 結核性腦膜炎. (2) 結核性小腸潰瘍.

病歴 不詳.

鏡檢所見. 叢ノ絨毛及ビ血管ニ富ミ、血管外被細胞ノ増殖ヲ示セリ。絨毛基質ハ浮腫性ニシテ殆ト到ル所顯著ナル細胞浸潤ヲ被リ加之一部ニハ結核ヲ形成セリ。石灰沈着少量ナリ。脉絡上皮細胞ハ平等ニ腫脹シ一部ノ胞體ハ蜂窩狀一部ハ顆粒狀構造ヲ現ハシ、内ニ大小ノ空胞ヲ包藏ス。核ハ原形質ニ比シ極メテ大ニシテ圓形蒼白ナリ。無絨毛部ニモ亦同様ニ著明ナル細胞浸潤アリ。絨毛外ニハ多數ノ剝離上皮細胞アリ。

第83例. 座〇ト〇. 女. 18歳. 死後19時間ニシテ解剖ス。

臨牀的診斷. 流行性腦脊髓膜炎。

剖檢的診斷. (1) 肺、肝及ビ腎臓ノ粟粒結核。(2) 腦底結核性腦膜炎。

病歴. 20日前ヨリ發病シ發熱及ビ脊髄症候ヲ現ハセリ。腦脊髄液ハ稍々潤濁シ胞内腦膜炎双球菌 (Diplokokkus intracellularis meningitidis) 陰性ナリ。4月9日死亡ス。

鏡檢所見. 脉絡上皮細胞ハ腫脹シ其原形質ハ顆粒狀構造ヲ現ハシ、空胞ト黃色々素粒トヲ有シ核ハ濃染セリ。絨毛基質ハ鬆粗ニシテ絨毛頂ハ既ニ同質性トナレリ。血管ハ充血甚シク諸所「エオジン」嗜好細胞出現セリ。無絨毛部ノ鬆粗結締織ニハ顯著ナル細胞浸潤ヲ來シ且結核ヲ形成シ多數ノ喰細胞群在セリ。絨毛外ニハ剝離上皮細胞、血球珠ニ赤血球ノ溢出影シ。

第43例. 江〇ミ〇. 女. 生後2歳. 死後3時間ニシテ解剖ニ附セリ。

臨牀的診斷. 結核性腦膜炎。

剖檢的診斷. (1) 結核性氣管支炎及ビ氣管支周圍炎。(2) 肝及ビ脾臓ノ粟粒結核。(3) 結核性軟腦膜炎。

病歴 不詳。

鏡檢所見. 叢ノ絨毛ニ富ミ充血著シク、基質ハ一般ニ鬆粗ニシテ到ル所著シキ細胞浸潤ヲ來セリ。無絨毛部ニハ更ニ顯著ナル細胞浸潤ヲ來シ、Langhans氏型巨大細胞ヲ有スル結核ヲ形成セリ。脉絡上皮細胞ハ著シク腫脹シ一部ハ高圓柱狀ナシテ密ニ、一部ハ寧ロ類圓形ヲ呈シテ疎ニ相隣坐セリ。原形質ハ顆粒狀構造ヲ現ハシ僅カノ小空胞ヲ有ス。其他剝離上皮細胞存在ス。

第135例. 田〇オ〇. 女. 32歳. 死後4時間目ニ解剖セリ。

臨牀的診斷. 結核性腦脊髓膜炎。

剖檢的診斷. (1) 肺、肋膜、肝、脾及ビ腎臓ノ粟粒結核。(2) 右側癒着性肋膜炎。(3) 結核性小腸潰瘍。(4) 結核性軟腦膜炎。

病歴. 1月8日突然烈シキ項痛、頭痛及ビ嘔吐ヲ起シ熱感アリ。爾來體溫 39°C ニシテ腰椎穿刺ヲ行ヒシニ腦壓 240—410 cm. ヲ算シ、液透明ニシテ淋巴球増多症 (10以上) ヲ來シ Nonne 陰性ナリ。1月26日死亡セリ。

鏡檢所見. 脉絡上皮細胞ノ腫脹ニ平等ニシテ其大サ及ビ形狀多様ナリ。原形質ハ疎ナル顆粒狀構造ヲ現ハシ、多數ノ大小空胞ト黃色々素粒トヲ包藏セリ。空胞ノ大ナルモノハ細胞核大ニ達シ、多クハ遊離端ニ存スレドモ又數々基底部分ニ存在スルモノアリ。絨毛基質ハ核ニ乏シク鬆粗ナリ。而モ硬變高度ニシテ、血管ハ充血著シク且諸所ニ出血ヲ來シ、石灰沈着少量ナリ。無絨毛部ニハ結核ヲ形成シ著明ナル細胞浸潤ヲ被レリ、又多量ノ澱粉樣小體存在セリ。

第四腦室ニ於ケル脉絡叢ハ側室ニ於ケルト殆ト同様ナル所見ヲ呈スレドモ上皮細胞ノ變性セルコト、硬變ノ高度ナルコト、黃色々素粒ノ多量ニシテ而モ其色調黑褐色ヲ帶ビ且大ナルモノ多數存在スルコト及ビ諸所ニ結締織ノ増殖ヲ來セルコトヲ稍々異レリトス。茲ニモ亦無絨毛部ニハ結核ヲ形成セリ。

第91例. 三〇爲〇. 男. 20歳. 死後14時間ニシテ解剖ニ附セリ.

臨牀的診斷. (1) 結核性腦膜炎. (2) 左側濕性肋膜炎.

剖檢的診斷. (1) 結核性腦脊髄膜炎. (2) 左側纖維性化膿性肋膜炎.

病歴. 昨年11月初旬, 寒胃ニ罹リテ以來, 絶エズ頭部全體ニ互リテ發痛シ, 21日ニハ左側濕性肋膜炎ヲ起セリ. 2月10日入院. 入院前4,5日嘔吐ニ同アリ. 入院當日ハ頭痛烈シカリシモ眩暈無ク意識明カナリ. 然ルニ項部強直著明ニシテ Kernig 氏症狀陽性ナリ. 同日腰椎穿刺ヲ行フ. 液稍々混濁シ初壓400 cm. 終壓190 cm. Pleocytose 504. Nonne 陽性, 結核菌ヲ證明セリ. 翌日譫語ヲ發シ12日ニハ全ク昏憊狀態ニ陷リ18日終ニ死亡セリ.

鏡檢所見. 脉絡上皮細胞ハ疎ナル顆粒狀構造ヲ現ハシ, 大小多數ノ空胞及ビ黃色々素粒ヲ藏ス. 絨毛ハ殆ド到ル所著明ナル細胞浸潤ヲ被リ而モ一部ニハ結核ヲ形成セリ. 基質ハ一般ニ核ニ乏シク鬆粗ナルモ, 一部ニハ結締組織ノ増殖ヲ來シ石灰沈着著明ナリ. 基質ノ硝子樣變性比較的輕度ナリ. 絨毛外ニハ剝離上皮細胞及ビ赤血球ノ溢出アリ.

第30例. 林ト〇. 女. 生後1年5箇月. 死後11時間ニシテ解剖ニ附ス.

臨牀的診斷. (1) 結核性腦膜炎. (2) 加答兒性肺炎.

剖檢的診斷. (1) 兩側加答兒性肺炎. (2) 肺及ビ肝臟ノ孤立性結核. (3) 腸結核及ビ潰瘍. (4) 結核性腦膜炎.

病歴. 6月6日以來機嫌ヲ損シ, 發熱咳嗽ヲ來シ20日嘔吐ヲ發ス. 22日入院ス. 24日夜嘔吐烈シク翌日昏憊狀態ニ陷レリ. 7月1日項強現ハレ3日突然高熱(39°C)ヲ發シ4日死亡セリ.

鏡檢所見. 叢ハ充血甚シク, 絨毛基質ハ一般ニ鬆粗ニシテ諸所ニ著明ナル細胞浸潤ヲ來シ, 一部ニハ結核ヲ形成セリ. 脉絡上皮細胞ハ稍々腫脹シ蜂窩狀構造ヲ現ハシ, 一部ハ顆粒狀構造ヲ呈セリ. 核ハ圓形ニシテ濃染セリ. 無絨毛部ニモ亦同様ニ顯著ナル細胞浸潤存在シ, 又結核ヲ形成シ大食喰細胞群在セリ. 其他石灰沈着少量ニシテ剝離上皮細胞アリ.

第47例. 三〇ミ〇. 女. 生後2年3箇月.

臨牀的診斷. 慢性疫病?

剖檢的診斷. (1) 腦底結核性腦膜炎. (2) 孤立性腎臟結核. (3) 肺, 肝, 脾及ビ腎臟ノ粟粒結核. (4) 濾胞性腸炎.

病歴. 4月10日頃突然發熱シ一週間繼續セリ. 5月1日ニ至リ再ビ發熱シ40°Cヲ上下セリ. 便ハ有形ニシテ粘液ヲ缺ク. 15日痙攣ヲ發シ意識不明トナリ6時間ニ及ブ. 爾來精神興奮シ18日右上眼瞼下垂シ, 右上肢ニ「アトローセ」樣運動ヲ來シ, 翌夕刻ヨリ時々呼吸停止シ人工呼吸ニヨリ辛シテ恢復セリ. 知覺ハ殆ド消失セルモ痛覺ハ尙ホ存在シ21日夜腰椎穿刺ヲ行ヒ終ニ死亡セリ.

鏡檢所見. 叢ハ充血甚シク絨毛基質ハ甚ク鬆粗ナリ. 脉絡上皮細胞ハ腫脹シ一部ハ顆粒狀, 一部ハ蜂窩狀構造ヲ現ハシ且多數ノ空胞ヲ包藏ス. 上皮間ニハ數々白血球侵入セリ. 絨毛基質ニハ諸所著明ナル細胞浸潤ヲ來セリ. 無絨毛部ニハ Langhans 氏型巨大細胞ヲ有スル結核ヲ形成シ, 無數ノ大食喰細胞及ビ「プラスマ」細胞群集セリ. 又纖維素ノ析出及ビ剝離上皮細胞アリ.

以上26例ニ於ケル結核性腦膜炎ノ所見ヲ總括スレバ, 其主要點ハ細胞浸潤ニシテ,

該浸潤ハ絨毛部ヨリ無絨毛部ニ稍々顯著ナリ。茲ニ統計ヲ以テ示サンニ、絨毛部ニ於テハ26例中18例、即69%強ニ著明ナル細胞浸潤ヲ發見シ、加之其4例ニハ結核ヲ形成セリ(附圖第2圖參照)。絨毛部ニ於ケル細胞浸潤ハ概シテ疎ナルモ亦數々密ナルコトアリ。該浸潤細胞ハ上皮境界ニ沿ヒ或ハ血管周圍ヲ圍繞シ、甚シキハ上皮細胞ハ之等浸潤細胞ノ爲ニ全ク被ハレ或ハ破壊サレタルコトアリ。而モ無絨毛部ニ於ケル變化ハ一般ニ更ニ著シク且其罹患率亦高度ナリ。即26例中24例換言スレバ92%強ニ顯著ナル細胞浸潤ヲ來シ、其内結核性肉芽組織ヲ形成セルモノ18例即69%強Langhans氏型巨大細胞ヲ備フル定型的結核性變化ヲ7例ニ檢出セリ(附圖第1圖參照)。

更ニ余ノ注意ヲ惹キシハ脉絡叢ニ於ケル結核性變化ノ、腦膜ノ結核ヲ除キタル他部ノ結核ニ比シーノ特徴ヲ示セルコトナリ。即チ結核ノ圓形細胞浸潤部ノ周圍組織ハ概シテ鬆粗トナリ、茲ニ無數ノ大貪喰細胞群集シ、而モ一部ニハ大貪喰細胞ノミ無數集簇シ盛ンニ貪喰現象ヲ逞シウセルコトナリ(附圖第3圖參照)。

コ、ニ大貪喰細胞ト云フハMetschnikoffノMakrophagenノ意ニシテ、其形狀ヲ記載スレバ胞體極メテ大ニシテ多クハ圓形ヲ呈シ、直徑通常 17μ 内外、時ニハ $20-25\mu$ ニ達シ、概シテ二核或ハ多核ヲ有ス。核ハ細胞體ニ比シ甚ダ小ニシテ且偏在シ、其形狀多クハ圓形、卵圓形等ニシテ二三ノ核小體ヲ藏セリ。之等貪喰細胞内ニハ赤血球及ビ其遺殘物、出所不明ナル破壊細胞或ハ多數ノ白血球、時ニハ「プラスマ」細胞等ヲ貪喰セリ(附圖第3圖參照)。其他又單核ナルモノアリ、コハ直徑 14μ 内外ヲ算スルモノ多シ。之等細胞ニハ透明ナル稍々空胞狀(vacuolär)ノ内成形部ト、強ク染色サレタル外成形部ヲ區別セシム。胞體ハ大體ニ於テハ水泡狀(bläschenförmig)形狀ヲ呈スルモ、濃染セル外成形部ハ微細ナル格子狀或ハ稍々顆粒狀ヲ現ハシ、或ハ寧ロ同質性ニシテ封入物ヲ有セザル細胞アリ。内部ノ殊ニ透明ナル細胞ハ攝取セシ細胞ヲ溶解シタルモノナルコトヲ推測セシム。之等大貪喰細胞ハ或ハ密集シ或ハ散在セルモ結核性腦膜炎ニ於テハ必ズ著明ナル圓形細胞浸潤ト其出現ヲ共ニスルモノニシテ、而モ此大貪喰細胞ノ群集の出現ハ、少クトモ余ノ檢査セシ範圍ニ於テハ、其固有ナル圓形細胞浸潤ト共ニ該疾患ノ特徴トナスベキモノナリト信ズ。

次ニ上記細胞浸潤部殊ニ無絨毛部ニ於ケルモノハ屢々赤血球ヲ混ジ、又「プラスマ」細胞ノ出現ヲ見ルコト多シ、乍併又淋巴細胞及ビ單核細胞等ノミヨリ成レル場合モ少カラズ。又時ニハ纖維素ヲ析出シ或ハ局限セル化膿ヲ形成スルコトアリ。

脉絡上皮細胞ハ一般ニ著シク腫脹ヲ來シ第156例ノ如キハ高サ 21μ 幅 15μ ヲ算スル高圓柱狀ヲ呈シ、核ハ其基底ニ位スルモノ少カラズ。而モ一般ニ胞體ノ形狀、大サ

ニ關シテハ實ニ各種各様ナリ。

原形質ノ構造ハ網狀蜂窩狀ヲ呈セルモノ7例、顆粒狀ヲ現ハセルモノ16例、一部ハ網狀一部ハ顆粒狀ヲ示セルモノ4例、其構造ノ不著明ナルモノ1例存在セリ。而シテ空胞ハ多クハ胞體ノ遊離端ニ存スルモノ亦基底ニ存シ、其空胞ノ最モ大ナルハ細胞核大ニ達スルモノアリ。

絨毛基質ハ一般ニ核ニ乏シク且甚ダ鬆粗ニシテ結締組織纖維ノ屈曲著シク、又屢々披裂ヲ來シ或ハ包囊ニ變ジ、時ニハ強度ノ浮腫ノ狀態ヲ示セリ。而モ絨毛基質殊ニ絨毛頂(Zattenkuppe)ハ容易ニ硬變ニ陥ル傾向ヲ有シ第95例ノ如キハ生後僅ニ7年ニシテ既ニ絨毛頂ハ同質性トナレリ。其他血管ノ充血著シク又屢々「エオジン」嗜好細胞出現シ、絨毛外ニハ多數ノ剝離上皮細胞及ビ其破壞產物、大貪喰細胞及ビ血球溢出等アリ。

(二) ワイル氏病。

第106例。 木○勘○。男。23歳。發病後5日目死亡。死後24時間ニシテ解剖ニ附ス。

剖檢の診斷 (1) 全身黃疸。(2) 點狀出血(肋膜、心外膜、肝臟被膜及ビ胃腸粘膜)。(3) 急性實質性腎炎。(4) 肝及ビ心臓ノ實質性變性及ビ褐色萎縮。(5) 心室肥大。

病歴 1月12日晚景ヨリ惡寒發熱ヲ來タシ、13日食思去リ全身倦怠、腰痛、腓腸筋痛アリ。14日以後日々嘔吐ヲ發シ、15日眼球結膜黃疸ヲ發ス。16日入院。意識既ニ潤濁ニ軟脉ナリ。午後俄然脉性惡化シ終ニ死亡セリ。

鏡檢所見 脉絡上皮細胞ハ著シク腫脹シ高圓柱狀ヲナシ、幅117 μ 。高さ18.3 μ 。核ハ淡染シ其直徑7.5 μ ヲ算スルモノアリ。原形質ハ其構造ノ不著明ニシテ黃色々素粒ト粗大空胞ヲ藏ス。絨毛基質及ビ血管周圍ニハ諸所淋巴細胞及ビ「プラスマ」細胞ノ浸潤ヲ來セリ。基質ハ甚ダ鬆粗ニシテ而モ硬變高度ナリ。無絨毛部ニハ著明ナル細胞浸潤ヲ來セリ。絨毛外ニハ剝離上皮細胞血球殊ニ赤血球ノ溢出夥シ。

第164例。 堀○清○。男。48歳。發病後6日目死亡。13時間後剖檢。

剖檢の診斷 (1) 全身黃疸。(2) 點狀出血(皮膚、心臓、心外膜、肝、脾及ビ胃腸粘膜)。(3) 慢性實質性腎炎。(4) 右心室擴張等。

病歴 9月25日朝、全身違和ヲ感シ、午後惡寒發熱ヲ來セリ。26日食思去リ、27日結膜充血シ黃疸ヲ發ス。28日入院。意識稍々明カナリシガ胸部苦悶ヲ訴ヘ嘔吐ヲ爲セリ。29日全身黃疸ヲ發シ齒齦出血ヲ來セリ。30日痙攣ノ下ニ死亡ス。

鏡檢所見 脉絡上皮細胞ハ腫脹著シク原形質ノ明カナル蜂窩狀構造ヲ現ハシ、内ニ多量ノ黃色々素粒ヲ包藏セルモノ、大ナル空胞ヲ有セズ。核ハ概シテ圓形ニシテ淡染セリ。

絨毛基質及ビ血管周圍ニハ到ル所、著シキ圓形細胞浸潤ヲ來シ、多數ノ「プラスマ」細胞出現セリ。無絨毛部ノ鬆粗ナル結締組織ニハ更ニ顯著ナル浸潤存在シ、無數ノ「プラスマ」細胞、大小淋巴細胞及ビ大型單核細胞存在シ又赤血球ヲ混ゼリ。一般ニ絨毛基質ハ鬆粗ニシテ往々披裂ヲ來セリ。而モ硬變高度ニシテ血管壁ハ肥厚シ血球ヲ滿サズ。然レドモ一部、充血甚シク諸所小出血ヲ來シ、又石灰沈着及ビ澱粉樣小體多量存在。絨毛外ニハ多數ノ

剥離上皮細胞及ビ赤血球ノ溢出著明ナリ。

第180例。 調○貞○。 男。 59歳。 發病後6日目死亡。 17時間目ニ解剖ニ附ス。

剖檢の診斷。 (1) 全身黃疸。 (2) 點狀出血(胃及ビ小腸粘膜)。 (3) 胃腸加答兒。 (4) 萎縮性肝硬變及ビ輪膽管加答兒。

病歴。 9月12日夕刻。 惡寒發熱ヲ來タシ。 13日兩腓腸筋痛。 腹筋痛。 腰痛ヲ發セリ。 14日體溫上昇シ15日入院ス。 皮膚中等度ノ黃疸ヲ現ハシ腹部ヨリ四肢ニ皮下出血ヲ來セリ。 眼瞼及ビ眼球結膜黃疸色ヲ呈シ。 16日ニ至リテ嘔吐ヲ發セリ。 17日脉搏結代ニ終ニ死亡セリ。

鏡檢所見。 脉絡上皮細胞ハ一部ハ腫脹シテ殆ド類圓形ヲ呈シ。 一部ハ寧ろ萎縮ニ陥リ或ハ部分的剥脫ヲ來セリ。 核ハ濃染シ圓形ナリ。 原形質ハ顆粒狀構造ヲ現ハシ且細胞境界ノ不明ナルモノアリ。 絨毛基質ハ石灰沈着及ビ高度ノ硬變ヲ來シ血管壁肥厚セリ。 又數々「エオジン」嗜好細胞出現シ且諸所ニ小浸潤及ビ小出血點在セリ。 其他澱粉樣小體及ビ剥離上皮細胞存在ス。

第133例。 川○五○。 男。 31歳。 8日ノ經過ニシテ死亡シ。 2時間後ニ解剖ス。

剖檢の診斷。 (1) 全身黃疸。 (2) 腎炎。 (3) 點狀出血(内臟諸臟器)。 (4) 胃腸加答兒。

病歴。 9月16日惡寒。 頭痛。 全身違和ヲ感シ。 17日腰痛。 腓腸筋痛及ビ惡心ヲ發セリ。 18日ヨリ鼻出血ヲ來シ。 眼球結膜充血セリ。 21日結膜ノ充血及ビ黃疸増激シ。 22日皮下及ビ結膜出血。 吐血ヲ發シ終ニ死亡セリ。

鏡檢所見。 脉絡上皮細胞ノ腫脹顯著ニシテ。 核亦腫大シ。 圓形ニシテ淡染セリ。 原形質ハ明カナル蜂窩狀構造ヲ現ハシ恰モ多數ノ空胞ヨリ成レルガ如ク。 且黃色々素粒ヲ包藏ス。 絨毛ハ血管ニ富ミ充血著シク。 多クハ壁肥厚シ石灰沈着ヲ來セリ。 絨毛基質ハ甚ダ鬆粗ニシテ硬變ヲ來シ諸所多數ノ大出血及ビ細胞浸潤ヲ來セリ。 殊ニ大ナル血管ノ周圍ニハ無數ノ大「プラスマ」細胞樣形狀ヲ現ハセル細胞存在シ。 往々食喰現象ヲ示セリ。 其他多數ノ剥離上皮細胞アリ。

第160例。 城○ク○。 女。 47歳。 發病後8日目死亡。 16時間後解剖ニ附ス。

剖檢の診斷。 (1) 全身黃疸。 (2) 内臟諸臟器點狀出血。 (3) 急性腎炎。 (4) 脂肪過多症。

病歴。 10月31日惡寒發熱ヲ以テ發病ス。 爾來食慾振ハズ全身違和及ビ全身發痛アリ。 加フルニ惡心及ビ嘔吐ヲ來セリ。 11月4日眼球結膜充血シ黃疸ヲ伴フ。 5日入院ス。 6日ヨリ黃疸愈々増加シ舌。 齒齦。 頰粘膜等ヨリ時々出血シ。 上肢。 頸部。 胸部及ビ腹壁皮膚ニ多數ノ點狀出血ヲ生ズ。 8日不安トナリ躁狂ニ變シ終ニ死亡セリ。

鏡檢所見。 脉絡上皮細胞ハ不正形ノ黃色々素粒及ビ空胞ヲ有シ。 且甚シク腫脹シ(高サ24 μ 。 幅18 μ 。 ニ達スルモノアリ) 高圓柱狀。 類圓形或ハ多角形等ヲナシ。 多クハ疎ニ相隣坐セリ。 原形質ハ著明ナル網狀構造ヲ現ハセリ。 絨毛基質ニ於テハ浸潤細胞ガ上皮境界ニ沿ヒ。 或ハ血管周圍ニ殆ド到ル所ニ存在シ。 主トシテ「プラスマ」細胞及ビ大小淋巴細胞ヨリナレリ。 殊ニ「プラスマ」細胞ハ群ヲナシテ著シキ浸潤ヲ呈セリ。 絨毛基質ハ甚ダ鬆粗ニシテ充血著シク。 多量ノ石灰沈着及ビ澱粉樣小體存在ス。 又剥離上皮細胞多數アリ。

第71例。 白○ミ○。 女。 14歳。 9日ノ經過後死亡。 8時間後剖檢ス。

剖檢の診斷。 (1) 全身黃疸。 (2) 點狀出血(皮膚。 肋膜。 心囊及ビ腎盂)。 (3) 心。 肝及ビ腎臟ノ實質性變性。 (4) 胃腸加答兒。

病歴。 5月20日高熱(40°C)ヲ發シ。 23日既ニ結膜黃疸及ビ全身黃疸ヲ發來シ。 胸痛。 腹痛及ビ脚痛ヲ起シ28日死亡セリ。

鏡檢所見. 脉絡上皮細胞ハ著シク腫脹シ、高サ25—13.3 μ . 幅18.3—13.3 μ . ナ算シ、核ハ直徑6.7 μ . ニシテ圓形淡染セリ。細胞原形質ハ著明ナル網狀構造ヲ現ハシ空胞ヲ有ス。絨毛基質ニハ血管ノ周圍及ビ上皮境界層ニ沿ヒ諸所ニ「プラスマ」細胞及ビ淋巴細胞ノ浸潤ヲ來セリ。又腦砂ヲ形成シ、數々「エオジン」嗜好細胞出現セリ。血管ハ充血甚シク或絨毛ニ於テハ血管壁ノ硝子樣變性ニ陷レルアリ。基質ハ鬆粗ニシテ披裂及ビ包涵ヲ形成セルモ硝子樣變性ヲ缺ク。剝離上皮細胞多數ナリ。

第162例。 角〇カ〇。 女。 49歳。 發病後9日目死亡。 12時間後解剖ス。

剖檢の診斷 (1) 全身黃疸。 (2) 慢性間質性腎炎。 (3) 點狀出血 (肋膜、心外膜、腹膜、大小腸粘膜)。 (4) 心室擴張。 (5) 肺浮腫。

病歴. 10月3日朝惡寒發熱ヲ以テ發病シ、5日目ニ黃疸ヲ發シ、8日目ニハ皮膚ニ溢血ヲ生シ譫妄狀トナリ翌11日遂ニ死亡ス。

鏡檢所見. 脉絡上皮細胞ハ明カナル網狀構造ヲ現ハシ大ナル空胞ヲ有ス。結締組織基質ニハ殆ド到ル所、極メテ顯著ナル「プラスマ」細胞ノ浸潤ヲ來セリ。又諸所ニ大小出血、石灰沈着及ビ潑粉樣小體ヲ認ム。絨毛基質ハ鬆粗ニシテ核ニ乏シキモ、一部ニハ結締組織ノ増殖ヲ來セリ。多數ノ剝離上皮細胞及ビ赤血球ノ絨毛外溢存在ス。

第110例。 益〇藤〇〇。 男。 25歳。 發病後9日目死亡。 18時間後剖檢ス。

剖檢の診斷 (1) 全身黃疸。 (2) 點狀出血 (皮膚、肋膜、心蓋、腹膜、舌、咽喉、氣管、食道、胃腸粘膜及ビ腎盂粘膜)。 (3) 心筋、肝及ビ腎臓ノ實質性變性。 (4) 蜘蛛膜下腔出血。

病歴. 8月14日感冒ヲ病ミ發熱ス。15日腓腸筋痛アリ。16日眼球結膜黃疸色トナリ、各所ニ筋痛ヲ來セリ。17日全身著明ニ黃疸色トナリ21日入院ス。全身ニ皮下溢血珠ニ左上肢ニ指尖大、左膝關節ニ鳩卵大、上唇ニ豆大、右頸部ニ手掌大ノ皮下出血ヲ來セリ。22日意識溷濁シ痙攣ノ下ニ死亡セリ。

鏡檢所見. 脉絡上皮細胞ハ著シク腫脹シ著明ナル蜂窩網狀構造ヲ現ハシ、大ナル空胞ト黃色々素粒トヲ有ス。核ハ濃染セリ。絨毛基質ニハ大小出血ヲ來シ、且到ル所ニ「プラスマ」細胞及ビ淋巴細胞ノ浸潤ヲ發見ス。血管ハ充血甚シク基質ハ一般ニ鬆粗ナリ。其他剝離上皮細胞多數ナリ。

第179例。 堀〇千〇造。 男。 59歳。 發病後9日目死亡。 17時間後解剖ス。

剖檢の診斷 (1) 全身黃疸。 (2) 腎炎。 (3) 點狀出血 (皮膚、肋膜、心外膜、大小腸粘膜、腸間膜、膀胱、胃、十二指腸粘膜、硬腦膜)。 (4) 右側癒着性肋膜炎。

病歴. 12月10日惡寒發熱ヲ以テ發病ス。15日入院。眼球結膜ニ高度ノ充血アリ痕跡ノ黃疸ヲ伴フ。皮膚ニモ既ニ輕度ノ黃疸アリ。筋ノ握痛ハ腹筋、股筋、腓腸筋ニ存ス。翌7日目ニハ皮膚ノ溢血ヲ來シ、18日終ニ死亡セリ。

鏡檢所見. 脉絡上皮細胞ハ腫脹著シク、核ハ淡染シ圓形ナリ。原形質ハ網狀ヲ呈シ大ナル空胞ト黃色々素粒ヲ入ル。細胞浸潤ハ絨毛基質ノ殆ド到ル所ニ存在シ稍々著明ナリ。殊ニ血管ノ周圍ヲ著シトナス。又出血及ビ「エオジン」嗜好細胞出現セリ。結締組織基質ハ一般ニ結締組織ノ増殖ヲ來シ、血管壁肥厚シ石灰沈着著シ、且甚ダ鬆粗ニシテ高度ノ硬變アリ。多數ノ剝離上皮細胞及ビ赤血球ノ絨毛外溢出影シ。

第114例。 城〇彦〇。 男。 26歳。 發病後11日目死亡。 21時間後解剖ニ附ス。

剖檢の診斷 (1) 全身黃疸。 (2) 點狀出血 (肋膜、心蓋、腎盂及ビ胃粘膜)。 (3) 實質性腎炎。 (4) 肝臓ノ脂肪變性。

病歴. 7月21日發病ス。當日頭痛、腰痛及ビ足痛ヲ感ズ。24日高熱ヲ發ス。黃疸ヲ缺ク、25日入院、29日

ヨリ譫語ヲ發シ31日死亡セリ。

鏡檢所見。 脉絡上皮細胞ハ一般ニ類圓形ヲ呈シ、核ハ稍々濃染セリ。原形質ハ著明ナル網狀蜂窩ヲ現ハシ多數ノ大ナル空胞ヲ有ス。絨毛基質ニハ諸所ニ大小出血及ビ細胞浸潤ヲ來シ、石灰沈着著シク、且一部ニハ結締組織ノ増殖ヲ來セリ。一般ニ基質ハ甚ダ鬆粗ナルモ絨毛頂ハ既ニ同質性トナレリ。充血又甚シ。其他多數ノ剝離上皮細胞アリ。

第137例。石〇カ〇。女。34歳。發病後13日目死亡。21時間後解剖ニ附ス。

剖檢的診斷。 (1) 全身黃疸。(2) 點狀出血(心外膜及ビ前脛骨部皮膚)。(3) 腎、脾、肝及ビ心臟ノ實質性變性。(4) 急性實質性腎炎。

病歴。 6月20日發熱ヲ以テ發病シ、全身違和、腓腸筋痛アリ、23日結膜稍々充血ス。25日結膜稍々黃疸色ヲ帶ビ意識ハ稍々混濁シ興奮狀態トナリ、幻想ヲ爲シ終ニ躁狂トナレリ。30日昏憊狀態ニ陥リ7月2日死亡セリ。

鏡檢所見。 叢ハ絨毛ニ富ミ充血甚シ。脉絡上皮細胞ハ稍々腫脹シ極メテ密ニ相隣坐シ、一部ニ於テハ殆ド其境界ヲ辨ゼザルモノアリ。原形質ハ微細ナル顆粒狀構造ヲ現ハシ多量ノ黃色々素粒ト空胞トヲ藏シ核ハ濃染セリ。絨毛基質ハ鬆粗ニシテ核ニ乏シ。細胞浸潤ハ血管周圍ニ僅カニ存在スルニ過ギズ。「エオジン」嗜好細胞及ビ澱粉樣小體アリ。絨毛外ニハ多數ノ赤血球溢出及ビ剝離上皮細胞アリ。

第186例。篠〇ク〇。女。67歳。發病後15日目死亡。23時間後解剖ス。

剖檢的診斷。 (1) 全身黃疸。(2) 右側肋膜下點狀溢血。(3) 慢性間質性腎炎。(4) 分葉肝。

病歴。 15日前ヨリ頭痛及ビ腹痛ヲ感シ、5日前ヨリ嘔吐ヲ發ス。9月28日初メテ黃疸ヲ發シ、意識ノ混濁ヲ來セリ。30日ニ至リテ意識全ク不明トナリ終ニ午後死亡ス。

鏡檢所見。 脉絡上皮細胞ハ著シク腫脹シ厚形質ハ顆粒狀構造ヲ現ハシ黃色々素粒及ビ空胞ヲ包有ス。絨毛部ニハ殆ド細胞浸潤ヲ認メズ、唯無絨毛部ニノミ散在性ニ存在ス。基質ハ一般ニ核少ク高度ノ硝子樣變性ニ陥リ、血管壁肥厚セリ。其他石灰沈着及ビ多量ノ澱粉樣小體存ス。

第123例。松〇六〇。男。27歳。發病後16日目死亡。16時間後解剖ニ附ス。

剖檢的診斷。 (1) 全身黃疸。(2) 急性實質性腎炎。(3) 點狀出血(左肋膜、胃及ビ大小腸粘膜)。(4) 心及ビ肝臟ノ實質性變性。

病歴。 9月1日夜惡寒發熱ヲ以テ發病ス。4日顔面黃疸ヲ呈シ筋痛烈シ。其後ロイム氏病ニ定型性ノ經過ヲトリ、8日入院シ、16日死亡ス。

鏡檢所見。 脉絡上皮細胞厚形質ハ顆粒狀ヲ呈シ、大ナル黃色々素粒及ビ空胞ヲ有ス。絨毛基質ニハ殆ド細胞浸潤ヲ見ズ、唯僅カノ淋巴細胞及ビ「プラスマ」細胞ノ遊走セルノミナリ。「エオジン」嗜好細胞及ビ澱粉樣小體存ス。結締組織基質ハ鬆粗ニシテ硝子樣變性高度ナルモ充血著シ。剝離上皮細胞アリ。

第183例。林三〇。男。64歳。發病後16日死亡。5時間後剖檢ス。

剖檢的診斷。 (1) 全身黃疸。(2) 點狀出血(皮膚、肋膜、心外膜及ビ胃腸粘膜)。(3) 慢性腎炎。(4) 胃腸加答兒。

病歴。 8月20日晚發病。熱感、倦怠、筋痛ヲ發ス。21日ヨリ食思去リ25日全身黃疸トナリ、27日28兩日嘔吐アリ、29日入院。皮膚著シク黃染シ廻盲部、胸部、上膊等ニ點狀ノ溢血アリ。9月4日午前8時死亡セリ。

鏡檢所見。 脉絡上皮細胞ハ一部ハ萎縮ニ陥リ顆粒狀構造ヲ現ハシ、一部ハ稍々腫脹シ蜂窩狀構造ヲ呈シ細胞核大ニ達スル空胞ヲ有ス。之ニ反シ黃色々素粒 甚ダ少量ナリ。絨毛部ニハ殆ド細胞浸潤ヲ認メズ、無絨毛部

ノ鬆祖ナル結締組織ニ於テ殊ニ血管ノ周圍ヲ圍繞シテ大小ノ淋巴細胞及ビ「プラスマ」細胞ノ著シキ浸潤アリ。又大
型單核細胞混在シ中ニハ貪喰現象ヲ現ハセリ。絨毛基質ハ殆ド核無ク、數々披裂及ビ包囊ヲ形成シ且硝子樣變性
高度ナリ。血管壁ハ著シク肥厚シ管腔ハ高度ノ狹窄ヲ來セリ。又石灰沈着及ビ澱粉樣小體多量ニ存ス。剝離上皮
細胞少量ナリ。

第177例。 中○卯○。男。57歳。發病後20日目死亡。7時間後解剖ス。

剖檢の診斷。 (1) 全身黃疸。 (2) 慢性腎炎。 (3) 點狀出血(皮膚、肋膜、心外膜及ビ腎盂粘膜)。 (4) 濾胞性
大小腸炎。

病歴。 9月5日惡寒ヲ以テ發熱ス。13日初メテ眼球結膜充血シ、黃色ヲ呈セリ。15日入院。眼球結膜ノ充血、
黃疸尙ハ著明ニシテ、皮膚又黃疸ヲ呈セリ。其後一時一般狀態尙々小康ヲ保チシガ3日ヲ經テ突然高熱ヲ發シ、
同時ニ呼吸困難加ハリ Cyanose ヲ發シ、終ニ虛脱ニ陥リ21日午後死亡ス。

鏡檢所見。 脉絡上皮細胞ハ腫脹シ原形質ハ蜂窩狀構造ヲ現ハシ空胞ト突起ヲ有スル黃色々素粒ヲ包藏ス。
絨毛基質ハ甚ダ鬆祖ナリ。細胞浸潤ハ殆ド之ヲ見ズ。但シ「エオシン」嗜好細胞、石灰沈着及ビ澱粉樣小體ハ存在
ス。

第105例。 兄○後○。男。23歳。發病後20日目死亡。

剖檢の診斷。 (1) 全身黃疸。 (2) 點狀出血(心外膜、左心室内膜及ビ腎盂粘膜)。 (3) 肝及ビ腎臟ノ實質性變
性。 (4) 慢性蟲樣突起炎。

病歴。 8月7日頭痛發熱ヲ起シ、同日入院ス。次イテ黃疸、出血、口唇皸行疹現ハレ26日終ニ死亡ス。

鏡檢所見。 絨毛ハ充血著明ナリ。脉絡上皮細胞ハ密ニ隣坐シ殆ド其境界ヲ辨セズ。原形質ハ蜂窩狀構造ヲ
現ハシ空胞ト稀ニ黃色々素粒ヲ有ス。核ハ圓形ニシテ濃染セリ。絨毛基質ハ鬆祖ニシテ細胞浸潤ナク、僅少ノ白
血球ノ血管周圍ニ存スルノミナリ。石灰沈着少量ナリ。

第146例。 藤○龜○。男。39歳。發病後27日目死亡。

剖檢の診斷。 (1) 全身黃疸。 (2) 右側孤立性小腦膿瘍及ビ脾、腎、攝護腺及ビ心筋ノ膿瘍並ニ心内膜ノ粟粒
膿瘍。 (3) 點狀出血(肋膜、腎盂粘膜、氣管及ビ胃腸粘膜)。

病歴。 11月8日發熱、12日入院。當時皮膚ニハ極メテ輕度ノ黃疸アリ、握痛ハ腓腸筋ニ強ク、眼球結膜ニ
ハ充血アリ。外皮ニハ點々溢血ヲ來セリ。21日體溫上昇シ、後、可成高度ニ達シ特ニ著明ナル腦膜炎ノ症狀ヲ發
シ終ニ12月4日死亡セリ。

鏡檢所見。 脉絡上皮細胞ハ殆ド平等ニ腫脹シ、多クハ疎ニ隣坐シ、稍々著明ナル蜂窩狀構造ヲ現ハシ、内
ニ多量ノ黃色々素粒及ビ大ナル空胞ヲ藏シ、核ハ圓形ニシテ濃染セリ。

絨毛部ノ一部殊ニ大ナル血管ノ周圍ニ比較的著シキ圓形細胞浸潤ヲ來シ「プラスマ」細胞出現セリ。尙ホ無絨毛
部ニハ化膿ヲ來シ、無數ノ血球溢出シ多數ノ大小貪喰細胞混在セリ。絨毛基質ハ鬆祖ニシテ而モ高度ノ硝子樣變
性ヲ來シ、石灰沈着及ビ澱粉樣小體存在ス。

第79例。 村○竹○。男。17歳。發病後30日目死亡。24時間後解剖ニ附ス。

剖檢の診斷。 (1) 全身黃疸。 (2) 兩側肋膜點狀出血。 (3) 急性實質性腎炎。 (4) 心及ビ肝臟ノ實質性變性。
(5) 心室擴張。

病歴。 8月22日惡寒ヲ以テ發熱ス。3日後下熱ト共ニ黃疸發生シ無尿ヲ來セリ。9月9日足部及ビ項部ニ浮
腫ヲ來シ。23日肺浮腫ノ症狀ノ下ニ死亡セリ。

鏡檢所見。脉絡上皮細胞ハ甚ダ不規則ニ腫脹シ、原形質ハ著明ナル蜂窩狀構造ヲ現ハシ、多數ノ大小空胞ヲ藏ス。核ハ稍々濃染シ圓形ナリ。絨毛基質ハ甚ダ鬆粗ニシテ核ニ乏シク披裂及ビ包囊ヲ形成セリ。而モ絨毛頂ハ已ニ同質性トナレリ。血管ハ充血著シク石灰沈着微量ナリ。無絨毛部ニハ大型單核細胞出現シ稀ニ貪喰現象ヲ現ハセリ。血球ヲ混ズ。一般ニ上皮細胞僅少ナリ。

上記 Weil 氏病 18 例ニ於ケル鏡檢所見ヲ綜合スレバ、脉絡叢上皮細胞ノ腫脹、著明ナル圓形細胞ノ浸潤、出血及ビ浮腫ヲ其特徴トス、就中細胞浸潤ハ血管ノ周圍ニ顯著ニシテ、更ニ絨毛組織ニ及ビ屢々廣汎ナル範圍ニ互レル著シキ浸潤ヲ來セリ。其主成分ハ大小淋巴細胞及ビ「プラスマ」細胞ニシテ、殊ニ「プラスマ」細胞ハ血管ノ周圍ノミナラズ絨毛基質中ニモ多數密集セルコトアリ。

第 一 表

ワイル氏病ニ於ケル脉絡叢ノ組織學的所見

番 號	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	
姓 名	木 ○ 勘 ○	堀 ○ 清 ○	調 ○ 貞 ○	川 ○ 五 ○	城 ○ ク ○	白 ○ ミ ○	角 ○ カ ○	益 ○ 藤 ○	堀 ○ 千 ○	城 ○ 照 ○	石 ○ カ ○	篠 ○ ク ○	松 ○ 六 ○	林 ○ 三 ○	中 ○ 卯 ○	兒 ○ 俊 ○	藤 ○ 龜 ○	村 ○ 竹 ○	
年 齡	23 年	48	59	31	47	14	49	25	59	26	34	67	29	64	57	23	39	17	
性	合	合	合	合	♀	♀	♀	合	合	合	♀	♀	合	合	合	合	合	合	
經 過	5 日	6	6	8	8	9	9	9	9	11	13	15	16	16	20	20	27	30	
上 皮 細 胞	顆 粒 狀 高 幅 核 18.3μ. 11.7μ. 7.5μ.	蜂 窩 狀	顆 粒 狀	蜂 窩 狀	〃 高 幅 核 24μ. 18μ. 6μ.	〃 高 幅 核 18.3-25μ. 13.3μ. 6.7μ.	〃	〃	〃	〃	顆 粒 狀	〃	〃	蜂 窩 狀	〃	顆 粒 狀	蜂 窩 狀	〃	
淋 巴 浸 潤	卅	卅	+	卅	卅	+	卅	卅	卅	+	+	-	-	+	-	-	+	-	七七・八%
「 プ ラ ス マ 」 細 胞 浸 潤	+	-	-	卅	卅	+	卅	卅	+	-	-	-	+	+	-	-	+	-	五五・六%
出 血	-	卅	+	卅	-	-	卅	卅	+	+	-	-	-	-	-	-	-	-	三八・九%
備 考	絨毛外赤血球溢 出多數 剝離上皮多數	剝離上皮多數		大型單核細胞出 現	絨毛外赤血球溢 出	〃	剝離上皮多數	〃			絨毛外赤血球溢 出	剝離上皮僅少		大貪喰細胞	剝離上皮僅少		化膿細胞多數 貪喰細胞多數 大型單核細胞稀 ニ	貪喰細胞	

次ニ絨毛基質ニ於ケル出血ハ全例中 39% ニシテ絨毛外赤血球溢出ヲ合スレバ實ニ 100% ニ達シ、多クハ小出血ナルモ時ニハ稍々大出血ヲ檢出セリ。而シテ該浸潤及ビ出血ノ程度ハ共ニ疾病經過日數ニヨリ甚ダ動搖セリ、即チ余ノ檢査セシ例ニ於テハ、前表ニ示スガ如ク發病後 5 日目ヨリ劇増シ、6 日乃至 9 日目ニ到ル期間ニ死亡セシモノニ最モ顯著ニシテ、10 日ヲ經過スレバ甚ダシク減少シ、13 日以後ニ到レバ浸潤ハ殆ド之ヲ認ムルコト能ハズ、唯僅ニ血管周圍等ニ淋巴細胞ノ少數存在セルニ過ギズ。而シテ 20 日ヲ過グレバ全ク浸潤及ビ出血ヲ認メズ。其他又初期ニ於テハ出血ト共ニ無數ノ剝離上皮細胞ヲ見ルモノナルガ、經過長キモノニ於テハ其數次第ニ減少ス。但シ前表中發病後第 16 日目即第 14 例ハ細胞浸潤ヲ來セルモ、コハ無絨毛部ニノミ存在シ絨毛部ニハ全ク之ヲ缺ゲリ。尙ホ第 17 例即チ 27 日目ノ例ニ於テモ亦細胞浸潤竈アリシモ、コハ無絨毛部ニ化膿ヲ來シタル爲メナラン。

脉絡上皮細胞ハ一般ニ著シク腫脹シ、其著シキモノハ殆ド類圓形ヲ呈シ或ハ長卵圓形ヲナシ、又ハ高圓柱狀ニ變形シ、最大ナルモノニ於テハ高サ 24μ 、幅 18μ ニ達スルモノアリ。而シテ原形質ハ大部分蜂窩網狀構造ヲ現ハシ、網眼比較的大ニシテ恰モ多數ノ小空胞ノ集マレルガ如キモノ多シ、絨毛基質ハ殆ド全部著シク鬆粗トナリ甚シキ浮腫ノ狀ヲ呈セリ。

(三) 化膿性腦膜炎。

(茲ニ記載セル化膿性腦膜炎ハ外傷又ハ外傷ニヨル腦膿瘍ヨリ續發セシモノ及ビ臨牀上既ニ化膿性腦膜炎ナル診斷ノ附セラレタルモノ並ニ臨牀上「所謂腦膜炎」ナル診斷ノ下ニ死亡シ、剖檢ノ結果化膿性腦膜炎ト判明シタルモノヲ輯録セリ。)

第 17 例。野〇ミ〇。女。生後 9 箇月。死後 20 時間目ニ解剖ス。

臨牀的診斷。 (1) 脊椎拔裂。 (2) 化膿性腦膜炎。

剖檢的診斷。 (1) 脊椎拔裂。 (2) 出血性化膿性腦膜炎。

病歴。患者ハ初メ腰部ニ固有ナル軟サヲ有スル腫瘍ヲ生ジ、漸次増大シテ小兒手拳大ニ達シ、其表面皮膚ノ一部ノ破壊シテ潰瘍ヲ來セリ。12 月 9 日ニ至リテ突然發熱シ、翌日ハ既ニ腦膜炎症狀ヲ發セリ。腰椎穿刺ニヨリ化膿性腦膜炎ナル診斷ヲ附ス。12 月 16 日死亡ス。

鏡檢所見。脉絡叢ハ絨毛ニ富ムモ顯著ナル細胞浸潤ノ爲ニ殆ド全ク被ハレ、絨毛相互間ノ境界不明ナリ。該浸潤細胞ハ一部ハ膿球細胞ニシテ、一部ハ單核白血球、「プラスマ」細胞等ナリ。而シテ到ル所大小ノ出血ヲ來シ、絨毛間腔ニハ多量ノ纖維素ノ析出アリ。

脉絡上皮細胞ハ一部ハ著シク腫脹シ、一部ハ却ツテ萎縮シ或ハ細胞浸潤ノ爲ニ破壊サレ、或ハ薄膜トナリテ浸潤部ト境セリ。原形質ハ一般ニ網狀構造ヲ現ハシ空胞ヲ有スレドモ一部ニハ不著明ナリ。絨毛基質ノ一部ハ結締組織ノ増殖ヲ來シ、血管ハ高度ニ充血シ又石灰沈着アリ。絨毛外ニハ無數ノ剝離上皮細胞及ビ其破壊産物、血球、

大食喰細胞夥シ.

第11例. 生〇安〇. 男. 生後6箇月.

臨牀的診斷. (1)肺炎. (2)腦膜炎.

剖檢的診斷. (1)急性化膿性軟腦膜炎.

病歴. 5月3日發熱シ同時ニ呼吸困難ヲ來ス. 6日入院ス. 胸部右背部一般囉音ヲ聴取シ打診上濁音ヲ呈ス. 11日來胸部ノ症狀臨牀上輕快シタルガ如キモ, 突然痙攣ヲ發シ意識不明トナリ, 終ニ12日午後7時死亡セリ.

鏡檢所見. 叢著シク絨毛ニ富ミ, 充血甚シク諸所ニ大小出血ヲ來セリ. 細胞浸潤又極メテ顯著ニシテ殆ド叢絨毛ノ大部分犯サル. 多クハ膿球細胞ナルモ一部ハ淋巴細胞, 「プラスマ」細胞ヨリナレリ. 脉絡上皮細胞ハ構造不著明ニシテ大ナル空胞ヲ示サズ. 核ハ「クロマチン」ニ富ム. 絨毛間腔ニハ多量ノ纖維素ノ析出アリ. 石灰沈着少量ナリ. 絨毛外ニハ多數ノ剝離上皮細胞, 血球溢出及ビ喰細胞存ス.

第25例. 高〇治〇. 男. 生後1年1箇月.

臨牀的診斷. 化膿性腦膜炎 (原因加答兒性肺炎).

剖檢的診斷. 纖維素性化膿性腦膜炎.

病歴. 10月10日高熱ヲ以テ發病ス. 21日來突然一般症狀惡化シ嘔吐ヲ來シ, 胸部ニ囉音ヲ聴取シ項強現ハル. 腦脊髄液ハ膿様ニシテ腦壓最高300 cm. ヲ算セリ. 10月23日死亡ス.

鏡檢所見. 叢絨毛甚ダ多數ニシテ血管ハ充血著シク, 管腔擴張シ血球ヲ充滿セリ. 絨毛基質ニハ膿球浸潤高度ニシテ殆ド總テノ絨毛犯サレ, 且諸所ニ出血ヲ來セリ. 脉絡上皮細胞ハ腫脹シ高圓柱狀ヲ呈シ, 原形質ハ顆粒狀構造ヲ現ハセリ. 而シテ其末梢ニ微細ナル黃色々素粒及ビ空胞ヲ有ス. 核ハ濃染シ其形狀種々ナリ. 剝離上皮細胞多數ナリ.

第75例. 原〇繁. 男. 16歳. 死後10時間剖檢.

臨牀的診斷. (1)左側慢性中耳炎. (2)左側急性乳嚢突起炎. (3)左側頂蓋窩ニ於ケル耳性硬膜外膿瘍. (4)左側耳性顳額膿瘍. (5)耳性急性化膿性腦膜炎.

剖檢的診斷. (1)左側顳額膿瘍. (2)腦底化膿性腦膜炎.

病歴. 11月上旬ヨリ左側耳漏ヲ來シ, 12月上旬ニ至リテ高熱(38°C)ヲ發ス. 12月5日乳嚢突起開鑿術ヲ施行シタル際, 中頭蓋窩ニ於テ硬膜外ニ膿瘍ヲ發見ス. 其後2週日ヲ經テ12月20日後頭痛ヲ訴ヘ嘔吐ヲ來シ午後ニ至リテ腦膜炎症狀ヲ發ス. 腦脊髄液ハ濁濁セリ. 爾來意識不明トナリ28日遂ニ死亡セリ.

鏡檢所見. 脉絡叢絨毛ハ殆ド全部強度ノ膿球浸潤ヲ被リ, 殊ニ上皮境界層ニ沿ヒテ浸潤強ク, 且無數ノ膿球細胞ハ上皮間ニ侵入シ終ニハ絨毛外ニ溢出シ, 多數ノ大食喰細胞ト混在セリ. 從テ脉絡上皮細胞ハ之等細胞浸潤ノ爲ニ全ク被ハレ, 相互ノ境界不明ナルモノアリ. 之ニ反シ絨毛基質, 就中上皮層ヲ遠サカルニ從ヒ膿球細胞ハ其數ヲ減シ, 單核白血球, 「プラスマ」細胞等出現セリ. 其他小出血存在シ, 纖維素ノ析出多量ナリ.

脉絡上皮細胞ハ規則正シク而モ著シク腫脹シ, 黃色々素粒ト空胞トヲ藏ス. 原形質ハ末梢ニ於テ明カナル蜂窩狀構造ヲ現ハシ, 核ハ圓形ニシテ濃染セルモ浸潤強變ナル部ニ於テハ淡染腫大セリ. 血管ハ充血顯著ニシテ擴張著シク, 血球ヲ充滿セリ. 絨毛基質ハ鬆組ニシテ諸所同質性トナレリ. 又石灰沈着著シク無絨毛部ニハ少量ノ澱粉樣小體存在ス. 絨毛外ニハ多數ノ剝離上皮細胞, 大食喰細胞, 膿球及ビ赤血球ノ溢出存在ス.

第166例. 眞〇ハ〇. 女. 49歳. 死後3時間剖檢.

臨牀的診斷. 腦脊髄膜炎.

剖検的診斷 大脳、小脳及脊髄ノ漿液化膿性軟腦膜炎。

病歴 5月5日全身違和感ヲ感シ、7日發熱頭痛ヲ訴ヘ譫語ヲ發シ項強現ハル。次テ體溫 39°Cニ上昇シ頸痙攣、牙關緊急、後弓反張及ビ Kernig 氏症狀發現ス。6月26日死亡ス。

鏡檢所見 脉絡「皮細胞」高圓柱狀ヲ呈シ、高サ 25—26 μ 、幅 7.5—8.5 μ 、ニ達シ甚ダ疎ニ隣坐セリ。原形質ノ構造ハ不著明ナレドモ一部ハ顆粒狀ヲ現ハセリ。胞體ニ黃色々素粒及ビ空胞ヲ有シ核ノ濃染セリ。絨毛部ハ到ル所細胞浸潤著明ニシテ就中多核白血球ハ主ニ上皮界ヲ環リ、主トシテ單核細胞ヨリナレハ浸潤ハ血管ノ周圍ニ占居セリ。「プラスマ」細胞亦少カラズ、又諸所ニ小出血存在ス。絨毛基質ハ一般ニ鬆粗ニシテ、且高度ノ硝子樣變性ニ陷レリ。血管壁ハ肥厚シ著明ナル石灰沈着及ビ澱粉樣小體アリ。絨毛外ニハ纖維素ノ析出、剝離上皮細胞及ビ喰細胞存在ス。

第153例。寒〇猪〇吉。男。44歳。死後17時間剖検ス。

臨牀的診斷 化膿性腦膜炎。

剖検的診斷 腦底化膿性腦膜炎。

病歴 不詳。

鏡檢所見 脉絡叢ハ血管ニ富ミ充血顯著ナリ。絨毛組織ハ前例ノ如キ著明ナル細胞浸潤ヲ被リ、諸所ニ大小出血ヲ來セリ。蓋上皮細胞ハ不規則ニ腫脹シ疎ニ隣坐セリ。原形質ハ顆粒狀構造ヲ現ハシ黃色々素粒ト其末梢ニ空胞トヲ有セリ。核ハ一般ニ濃染セルモノガ淡染セルモノアリ。絨毛基質ハ極メテ鬆粗ニシテ諸所被裂ヲ來セリ。其他石灰沈着及ビ澱粉樣小體存在ス。絨毛外ニハ多數ノ剝離「皮細胞、大食喰細胞、血球及ビ纖維素」ノ析出アリ。

第187例。幸〇ヤ〇。女。67歳。死後18時間剖検。

臨牀的診斷 化膿性腦膜炎。

剖検的診斷 腦底化膿性腦膜炎。

病歴 不詳。

鏡檢所見 脉絡叢ハ絨毛及ビ血管ニ富ミ且血管ノ蛇行甚シクシテ充血顯著ナリ。絨毛ニ於ケル膿球浸潤ハ前例ノ如ク顯著ナリ。而シテ此例ニ於テハ單核細胞比較的多數混在シ、加之一部ノ絨毛ニ於テハ全ク單核白血球及ビ淋細胞ノミノ浸潤アリ、殊ニ血管ノ周圍ニ於テ然リ。又諸所ニ大小出血ヲ來セリ。絨毛基質ハ稍々鬆粗ニシテ原形質高度ナリ。血管壁肥厚シ石灰沈着及ビ澱粉樣小體存在ス。

脉絡「皮細胞」ハ著シク不規則ニ腫脹シ、原形質ハ蜂窩狀構造ヲ現ハシ多量ノ黃色々素粒ト空胞トヲ有ス。核ハ一部ハ淡染シ核小體明カナルモノハ稍々濃染セリ。絨毛外ニハ剝離上皮細胞、大食喰細胞、血球溢出及ビ著シキ纖維素ノ析出アリ。

第109例。武〇ケ〇。女。23歳。死後10時間剖検。

臨牀的診斷 (1) 外傷性硬膜下出血。(2) 敗血症。(3) 膀胱炎。

剖検的診斷 (1) 漿液化膿性腦膜炎。(2) 左側移頭部及ビ正中溝右上部ニ於ケル陳久性蜘蛛膜下出血。(3) 左側後頭部ニ於ケル稍々陳久ナル腦出血。

病歴 大正12年6月20日午前零時半電車ヨリ墜落シ後頭部ニ骨膜ニ達フル裂傷ヲ負フ。午前11時頃ニ及ビ左側上下肢運動不能トナリ腱反射減退セリ。知覺異常無ク且瞳孔反射及ビ體溫正常ニシテ嘔吐無シ。7月5日以來運動障礙ノ漸次「肢ノ末梢」ヨリ輕快セシガ、兩眼半盲症ヲ來セリ。27日來高熱ヲ發シ、8月3日ニ入りテ惡寒

厭慄ヲ以テ熱發ス。8月2日ニハ點狀溢血、3日ニハ齒齦出血ヲ來シ、5日及ビ9日ノ兩度血中ヨリ大腸菌ヲ培養シ得。尿ヨリノ大腸菌ト全ク同型ナリ8月13日死亡セリ。

鏡檢所見。 叢絨毛ハ殆ド全部著シキ膿球浸潤ヲ被リ、單核細胞ノ浸潤ヲ見ズ。又諸所ニ小出血ヲ來シ絨毛間腔ニハ纖維素ノ析出アリ。脉絡上皮細胞ハ著明ナル變化ヲ被リ、極メテ不規則ニ腫脹シ或ハ類圓形ヲ呈シ或ハ高圓柱狀ヲナシ、或ハ寧ロ萎縮シ或ハ無核トナレルモノアリ。核ハ基ダ蒼白ニシテ形狀又不規則ナリ。上皮細胞ハ一般ニ疎ニ連坐シ、或ルモノハ一箇ノ大ナル空胞ニ變シ、或モノハ多數ノ大ナル空胞ヲ有セリ。從ツテ細胞核ハ或ハ胞體ノ末梢ニ或ハ基底ニ壓迫サレ其所在不定ナリ。胞體ノ大ナルモノニハ直徑 17.5μ 。ナル圓形ヲ呈シ内ニ直徑 15μ 。ノ大空胞ヲ藏シ又高圓柱狀ヲナセルモノニハ高サ 30μ 。幅 5μ 。ヲ算スルモノアリ。原形質ハ顆粒狀構造ヲ現ハシ少量ノ黃色々素粒ヲ有ス。絨毛基質ハ極メテ鬆阻ニシテ少量ノ剝離上皮細胞及ビ喰細胞存在ス。

第93例。狹○茂。男。20歳。死後10時間剖檢。

臨牀的診斷。前頭部ノ外傷ニヨル腦膿瘍。

剖檢的診斷。化膿性腦膜炎。

病歷。不詳。

鏡檢所見。 叢絨毛ハ血管ニ富ミ充血著シ。脉絡上皮細胞ハ腫脹顯著ニシテ高圓柱狀(高サ $25-23\mu$ 。幅 $10-7.5\mu$)。或ハ類圓形等種々ナリ。原形質ハ顆粒狀構造ヲ現ハシ微量ノ黃色々素粒ト稀ニ空胞ヲ有ス。核ハ圓形ニシテ淡染セリ。絨毛基質ハ到ル所著明ナル膿球浸潤ヲ被リ、又諸所ニ出血竈存在ス。石灰沈着ハ微量ナリ。絨毛組織ハ甚ダ鬆阻ニシテ諸所同質性トナレリ。絨毛外ニハ無數ノ膿球細胞、剝離上皮細胞及ビ大貪食細胞存在スル外尙ホ纖維素ノ析出ヲ來セリ。

第171例。菊○熊○。男。51歳。

臨牀的診斷。(1)化膿性血栓靜脈炎。(2)化膿性腦膜炎。

剖檢的診斷。(1)化膿性腦脊髓膜炎。(2)大腦膿瘍。

病歷。8月來腰部ヨリ兩脚ニ放散スル疼痛ヲ感シ、9月ニ入リテ日々惡寒ヲ伴ヒ高熱ヲ發ス。同月下旬以來兩足背ニ浮腫ヲ來シ漸次左腹及ビ左腋窩ニ及ベリ。12月ニ至リ浮腫減退セシモ疼痛尙ホ去ラズ、加フルニ弛張熱ヲ發シ終ニ翌年1月16日腦膜炎ヲ併發シ22日死亡セリ。

鏡檢所見。 叢ハ充血著シ。絨毛基質ハ前列同様ニ諸所著明ナル細胞浸潤ヲ被リ且小出血ヲ來セリ。絨毛間腔ニハ纖維素ノ析出アリ。脉絡上皮細胞ハ互ニ疎ニ連坐シ、長キ突起ヲ有スル黃色々素粒ト稀ニ大ナル空胞ヲ有ス。原形質ハ顆粒狀構造ヲ現ハシ核ハ濃染セリ。基質ハ極メテ鬆阻ニシテ著シキ石灰沈着及ビ澱粉樣小體存在ス。

即チ化膿性腦膜炎ニ於ケル所見ハ上皮細胞ノ腫脹、膿球浸潤及ビ出血ヲ以テ其主ナルモノトス。就中上皮細胞ノ腫脹ニ關シテハ外傷ニ續發セシ腦膜炎ニ於テ最モ顯著ニシテ、例之第109例ノ外傷性硬膜下出血ニ於テハ高サ 30μ 。幅 5μ 。ノ高圓柱狀ヲナセルモノ又ハ直徑 17.5μ 。ナル圓形ナルモノアリ。後者ハ直徑 15μ 。ノ大ナル空胞ヲ藏セリ。尙ホ第93例ノ前頭外傷ニヨル腦膿瘍ニ於テモ亦高サ $25-23\mu$ 。幅 $10-7.5\mu$ 。ヲ算セリ。但シ非外傷性ノモノニテモ其最モ大ナルハ第166例ニテ高サ $25-20\mu$ 。幅 $7.5-8.5\mu$ 。ニ達セリ。一般ニ脉絡上皮細胞ハ此際ソノ幅員ヲ減シ高サヲ増シ高圓柱狀トナ

ルコト多シ。

原形質ノ構造ハ蜂窩狀ヲ呈セルモノ 30%, 顆粒狀ヲ現ハセルモノ 40%, 不著明ナルモノ 30% ヲ算シ。空胞形成ニ關シテハ外傷性殊ニ第 109 例ノ如キハ空胞ノ數及ビ大サ著シク胞體ハ全クノ空胞ト化シ, 或ハ數箇ノ大空胞群ト變ゼルモノアリタリ。

次ニ膿球浸潤ハ最モ著シキ變化ノ一ニシテ, 而モ該浸潤ノ程度極メテ高度ニシテ實ニ廣汎ナル範圍ニ互レリ。即絨毛ハ殆ド大部分膿球浸潤ヲ被リ, 其最モ著シキモノニ至リテハ絨毛相互ノ境界ヲ失ヒ, 或ハ上皮細胞相互ノ境界不明トナリ, 加フルニ膿球細胞ノ好ンデ上皮境界層ニ密集スルガ爲ニ各胞體ハ壓平サレテ薄膜トナリ, 浸潤部トノ境界ヲナセルガ如キ所アリ。而シテ化膿細胞ハ更ニ進ミテ上皮間ニ侵入シ, 或ハ其間ヲ通過シテ絨毛外ニ溢出シ此部ニ於テ多數ノ大貪喰細胞ト混在セリ。絨毛基質ニ於テハ化膿細胞ハ好ンデ上皮細胞ノ境界線ニ一致シテ浸潤シ, 同時ニ細胞層ニ接スル基質ニ浸潤スルヲ特異トナス。之ニ反シ單核細胞ノ浸潤ハ主トシテ血管ノ周圍ヲ圍繞シ又數々「プラスマ」細胞出現セリ。要之, 余ハ 10 例中全部ニ著明ナル膿球浸潤ヲ見タリ。

其他又該疾患ニ於テハ大小出血ヲ來シ余ハ 10 例全部ニ之ヲ檢出セリ。即チ化膿性腦膜炎ニ於テハ上皮細胞腫脹, 著明ナル膿球浸潤及ビ出血ガ恒在セリ。剝離上皮細胞又多數ナリ。

(四) 流行性腦脊髓膜炎。

第 154 例。 橋○由○。男。44 歳。死後 21 時間剖檢。

臨牀的診斷。 流行性腦脊髓膜炎。

剖檢的診斷。 化膿性腦脊髓軟膜炎。

病歷。 6 月 11 日惡寒, 頭痛及ビ嘔吐ヲ發シ, 15 日ニ至リテ譫語ヲ發シ昏ミ狀態ニ陷リ, 次テ吃逆ヲ來セリ。越エテ 17 日喘鳴ヲ發シ遂ニ同日夕刻死亡セリ。

鏡檢所見。 叢ハ充血著シク且血管ノ蛇行顯著ナリ。絨毛基質ニハ血管ノ周圍ニ單核白血球, 淋巴細胞, 「プラスマ」細胞等ノ浸潤ヲ來シ, 一部ノ絨毛ニハ少數ノ多核白血球上皮境界ニ堵列セリ。而シテ諸所ニ大小出血ヲ來セリ。無絨毛部ノ鬆阻結構殊ニ血管ノ周圍ニハ著明ナル膿球浸潤ヲ來シ, 多數ノ大貪喰細胞, 赤血球, 白血球混交存在セリ。

脉絡上皮細胞ハ蜂窩狀構造ヲ現ハシ, 其一部ハ空胞ト多量ノ黃色々素粒トヲ包藏シ, 核ハ「クロマチン」ニ富ム。其他血管壁ハ肥厚シ多量ノ澱粉樣小體及ビ石灰沈着アリ。絨毛外ニハ纖維素析出サレ又剝離上皮細胞及ビ貪喰細胞存在ス。

第 24 例。 菊○源○。男。生後 1 年。死後 6 時間剖檢。

臨牀的診斷。 流行性腦脊髓膜炎。

剖檢的診斷 漿液纖維素性化膿性腦脊髄膜炎。

病歴 4月18日突然機嫌ヲ損シ熱發ス。3日後嘔吐ヲ發シ死期マテ持續セリ。5月5日入院。以來日々嘔吐4—5回アリ、且項強著シク後弓反張強度ナリ。Kernig氏症狀ハ著明ナラズ、意識又甚シク犯サレズ。13日腦脊髄液ヨリ腦膜炎球菌ヲ培養シ得タリ。14日突然痙攣ヲ發シテ死亡ス。

鏡檢所見 脉絡上皮細胞ハ極メテ蒼白膨大セル圓形核ヲ有シ、胞體亦著シク腫脹シ甚シキハ高圓柱狀ナリニ或ハ密ニ或ハ疎ニ相連坐セリ。其大ナルモノハ高サ16.7—18.3 μ 、幅6.8—8.5 μ 、核ハ基底ニアリ、其直徑6.6—8.3 μ ヲ算ス。絨毛基質ハ著明ナル細胞浸潤ニヨリテ殆ド全ク被ハル、コハ主トシテ膿球細胞ヨリナレルモ時ニハ單核細胞ヨリナレリ。絨毛基質ハ鬆粗ナルモ一部ハ結締織ノ増殖ヲ來シ、又血管外被細胞ノ盛ナル分核現象ヲ現ハセリ。血管ハ充血著シク、絨毛外ニハ剝離上皮細胞、膿球細胞、喰細胞及ビ析出セル纖維素等アリ。

第26例 石〇定〇。男。生後2年。死後20時間剖檢。

臨牀的診斷 流行性腦脊髄膜炎。

剖檢的診斷 漿液性化膿性腦脊髄膜炎。

病歴 患者ハ發病後1週日ニシテ死亡セリ。入院當時體溫正常ニシテ瞳孔反射ヲ缺ギ、項強及ビKernig氏症狀ハ著明ナラザリキ。爾來腰椎穿刺ヲ行フコト24回ニ及ビタリシモ、後弓反張著シク且1週日來尿閉鎖ヲ來セリ。腦壓200—300 cm. ニシテ細胞内腦膜炎球菌ヲ證明セリ。

鏡檢所見 脉絡叢ハ絨毛ニ富ミ充血著シク蛇行顯著ナリ。脉絡上皮細胞ハ高圓柱狀ヲ呈シ、核ハ基底ニ位置シ厚形質ニ比シ極メテ大、多クハ圓形ニシテ甚ダ蒼白ナリ。絨毛基質ニハ諸所殊ニ血管ノ周圍ニ稍々著シキ細胞浸潤ヲ來セルモ、化膿細胞ノ浸潤ハ甚ダ僅少ナリ。結締織基質ハ極メテ鬆粗ニシテ且石灰沈着著シ。又剝離上皮細胞アリ。

第19例 山〇美〇。女。生後10箇月。死後20時間剖檢。

臨牀的診斷 流行性腦脊髄膜炎。

剖檢的診斷 (1) 化膿性軟腦膜炎。(2) 纖維性化膿性硬膜炎。

病歴 3月26日高熱ヲ發シ、三度嘔吐ス。4月14日再び嘔吐(一回)ヲ爲シ同時ニ痙攣ヲ發ス。19日入院。大テ項強現ハレ顳門緊張ス。Kernig氏症狀陰性ニシテ膝蓋腱反射亢進セズ。腰椎穿刺ヲ行ヒシニ腦壓180 cm. ヲ算シ、液渾濁シ腦膜炎球菌陽性ナリ。以來後弓反張益々強ク遂ニ嗜眠性トナリ、25日全身痙攣ヲ發シ死亡セリ。

鏡檢所見 叢ハ絨毛及ビ血管ニ富ミ、充血著シク且血管ノ蛇行顯著ナリ。又血管外被細胞ノ分核現象盛ナリ。絨毛基質ニハ著シキ細胞浸潤ヲ來シ且出血存在ス。無絨毛部モ顯著ナル細胞浸潤ヲ被レリ。脉絡上皮細胞ハ著シク密生シ、厚形質ノ構造ハ著明ナリ、小ナル空胞ヲ有シ核ハ圓形ニシテ淡染セリ。絨毛外ニハ剝離上皮細胞大喰喰細胞及ビ赤血球溢出等存在ス。

第82例 井〇知〇。男。17歳。死後5時間剖檢。

臨牀的診斷 流行性腦脊髄膜炎。

剖檢的診斷 (1) 漿液性化膿性腦脊髄膜炎。(2) 急性氣管支炎。

病歴 7月7日高熱ヲ發シ頭痛及ビ背痛ヲ來ス。13日入院。當時意識明カナリシカ頭部、背部及ビ項部發痛シ項強及ビKernig氏症狀著明ナリキ。14日腦膜炎球菌ヲ證明ス。腦壓400 cm. ナリ。8月7日意識渾濁シ昏情狀態トナリ9日朝死亡ス。

鏡檢所見 脉絡上皮細胞ハ一部ハ網狀構造ヲ現ハシ、一部ハ顆粒狀ヲ呈シ且小ナル空胞ト黃色々素粒ヲ有

ス。核ハ胞體ニ比シ著シク大ニシテ淡染セリ。絨毛基質ニハ著明ナル膿球細胞浸潤ヲ來シ、一部ニハ「プラスマ」細胞多數出現セリ。基質ハ一般ニ鬆阻ニシテ而モ硝子樣變性高度ナリ。稀ニ「エオシン」嗜好細胞出現セリ。無絨毛部ニモ同様ニ浸潤顯著ニシテ多數ノ大貪食細胞混在セリ。

第39例。三〇芳〇。女。生後1年9箇月。死後24時間剖検。

臨牀的診斷。流行性腦脊髓膜炎。

剖検的診斷。大腦、小腦及脊髄ノ漿液化膿性軟膜炎。

病歴。4月11日突然40.2°Cノ高熱ヲ發シ、次ア嘔吐ヲ來シ意識ハ漸次障礙サレ、加フルニ體溫弛張シ終ニ7月11日死亡セリ。

鏡檢所見。脉絡上皮細胞ハ類圓形、梨子狀形、或ハ高圓柱狀ヲ呈シ、原形質ハ顆粒狀構造ヲ現ヘセリ。而シテ多クハ其末梢ニ多數ノ大ナル空胞ヲ有ス。絨毛基質ハ極メテ鬆阻ニシテ、其一部ニハ稍々著明ナル多核白血球ノ浸潤ヲ來セリ。無絨毛部ニハ血管周圍ニ細胞浸潤ヲ來シ、且多數ノ格子狀細胞存在ス。其多數ノ剝離上皮細胞アリ。

第22例。讀〇ヨ〇。女。生後12箇月。死後12時間剖検。

臨牀的診斷。(1)慢性穿孔性中耳炎。(2)乳嘴突起炎。(3)加答兒性肺炎。(4)腹膜炎。(5)流行性腦脊髓膜炎。

剖検的診斷。(1)急性化膿性腦膜炎。(2)右上葉慢性化膿性肺炎。(3)纖維索性腹膜炎。(4)兩側膿胸。(5)右側癒着性肋膜炎。

病歴。11月5日以來時々背部ノ嘔音ヲ聴取シ打診上短音ヲ呈セリ。23日ヨリ高熱ヲ發シ項強現ヘレ、機嫌ヲ損ス。而モ意識明カニシテ顫門甚シク緊張セズ、又 Kernig 氏症狀陰性ニシテ痙攣ヲ缺ゲリ。12月10日ニ至リテ項強甚シク著明トナリ、體溫又著シク弛張シ17日終ニ死亡セリ。

鏡檢所見。脉絡上皮細胞ハ一部ハヨク保持サレ、平等ニ腫脹シ而モ疎ニ連坐セリ。原形質ハ蜂窩狀構造ヲ現ハシ一部ハ顆粒狀ヲ示シ粗大空胞ヲ有ス。核ハ「クロマチン」ニ富ミ圓形ナリ。絨毛基質ハ鬆阻ニシテ破裂及ビ包囊形ニ成シ、一部ハ結締組織ノ増殖ヲ來セリ。一部ノ絨毛ニハ化膿細胞ノ浸潤ヲ來シ又石灰沈着稍々著明ナリ。絨毛外ニハ剝離上皮細胞、大貪食細胞及ビ化膿細胞存在ス。

第111例。内〇シ〇。女。25歳。死後3時間剖検。

臨牀的診斷。(1)流行性腦脊髓膜炎。(2)十二指腸蟲症。

剖検的診斷。纖維索性化膿性腦脊髓膜炎。

病歴。3月13日頭痛、手足ノ關節痛及ビ熱感ヲ起シ、17日朝ニ至リ左肩ノ激痛、頭痛及ビ發熱ヲ來セリ。此日夕刻ヨリ項痛加ハリ翌18日腰椎穿刺ヲ行フ。液混濁セリ。20日該夜ヨリ腦膜炎球菌ヲ證明セリ。5月10日死亡セリ。

鏡檢所見。叢ハ充血甚シ。脉絡上皮細胞ハ一般ニ疎ニ隣坐シ、形狀極メテ不規則ニシテ、「アメーバ」様ナルモノ、類圓形、棍棒狀或ハ高圓柱狀等ヲ呈セリ。又數々破壊シ、或ハ大ナル空胞ト化シ又ハ核ヲ失ヘルモノアリ。原形質ハ顆粒狀構造ヲ現ハシ黄色色素粒ヲ有ス。核ノ形狀又不規則ニシテ濃淡又ハ淡染セリ。絨毛基質ハ極メテ鬆阻ニシテ而モ諸所硝子樣變性ニ陷レリ。絨毛内ノ細胞浸潤ハ僅微ニシテ血管周圍ニ僅カノ白血球、「プラスマ」細胞ノ浸潤存在スルノミナリ。無絨毛部ノ血管周圍ニハ多核白血球、單核白血球、「プラスマ」細胞等ノ著シキ浸潤ヲ來シ、膨大セル上皮細胞混在シ稀ニハ大貪食細胞モ亦觀察セラル。

上記 8 例ノ流行性腦脊髄膜炎ニ於ケル所見ハ脉絡上皮細胞ノ腫脹ト細胞浸潤トヲ特異トス。腫脹ヲ來セル上皮細胞ハ其形狀種々ニシテ或ハ高圓柱狀ヲ呈シ、或ハ類圓形、棍棒狀又ハ「アメーバ」様不規則ナル形狀ヲ呈セリ。腫脹ノ大ナルモノニ於テハ（第 24 例）高サ $16.7-18.3 \mu$ 、幅 $6.8-8.5 \mu$ ヲ算シ、核ハ其基部ニ位置セリ。原形質ハ一般ニ變質著シク全 8 例中蜂窩狀構造ヲ呈セルモノハ僅ニ 3 例ニシテ、而モ其内 1 例ニ於テハ一部ハ既ニ顆粒狀構造ヲ現ハセリ。他ノ 5 例ニ於テハ原形質ノ顆粒狀又ハ構造不著明トナレルモノ多ク、加フルニ上皮細胞ノ破壊シ或ハ核ヲ失ヘルモノ亦多數存在セリ。就中最モ顯著ナル變化ハ、絨毛基質ニ於ケル細胞浸潤ニシテ、而モ流行性腦脊髄膜炎ニ於テハ殆ド毎常化膿ヲ來シ膿球浸潤ヲ主トナセルモ化膿性腦膜炎ニ於ケルト同様ニココニモ亦單核細胞ノ浸潤ヲ伴ヒ、前者ハ主トシテ上皮境界ニ、後者ハ主トシテ血管ノ周圍ニ集合セリ。然ルニ絨毛外赤血球溢出ヲ除キ絨毛基質ニ於ケル出血ハ其率甚ダ小ニシテ 8 例中僅カニ 2 例即チ 25% ニ之ヲ觀タルノミナリ。其他又上記浸潤細胞間ニ數々「プラスマ」細胞出現シ、絨毛外ニハ多數ノ大貪喰細胞群集シ貪喰現象ヲ逞シウセリ。絨毛基質ハ此場合ニ於テモ亦甚ダ鬆粗ニシテ其他剝離上皮細胞モ多數存在セリ。

（五）腦 腫 瘍

第 157 例. 西〇〇〇. 女. 45 歳. 死後 16 時間剖検.

臨牀的診斷. 脊髄腫瘍?

剖検的診斷. (1) 大後頭孔部硬腦膜ニ於ケル砂瘤性内皮細胞腫. (2) 大後頭孔部ニ於ケル脊髄(頭髓上部)壓迫.

病歴. 大正 8 年 6 月以來左肩發痛シ、右上下肢ニ脱力感アリ。翌年 11 月兩上下肢運動障礙ヲ來シ、10 年 11 月來兩下肢ノ屈曲攣縮及ビ全身ニ異常感 (Paraesthesia) ヲ來ス、殊ニ兩側頸部及ビ膝蓋部ニ強度ナリ。又兩膊ノ微細ナル運動障礙サレ、11 年 7 月 1 日死亡セリ。

鏡檢所見. 叢絨毛ハ充血著シ。脉絡上皮細胞ハ疎ニ相隣坐シ、甚ダ不規則ニ腫脹シ或ハ高圓柱狀ヲナシ或ハ類圓形、多角形等ヲ呈セリ。原形質ハ一般ニ顆粒狀構造ヲ現ハシ二三ノ大空胞及ビ突起ヲ以テ細胞核ヲ纏絡セル黃色々素粒ヲ包藏ス。核ハ一般ニ濃染シ圓形ナリ。而シテ殆ド者絨毛ノ上皮細胞環ニ 1, 2 箇宛ノ巨大上皮細胞 (Rieseneuthelien) 存在ス (巨大上皮細胞ハ高サ 21.5μ 、幅 17μ 、核ノ直徑 $6.1-6.9 \mu$ ヲ算シ、「エオシン」ニ濃染シ原形質ノ顆粒粗大ナリ)。

腫脹セル上皮細胞ハ高サ 17μ 、幅 16μ ナルモノ多シ。

絨毛基質ハ殆ド核無く、甚ダ鬆粗ニシテ披裂及ビ包囊ヲ形成セリ。而モ既ニ高度ノ硝子樣變性ニ陥レリ。又血管壁肥厚シ、石灰沈着存在ス。無絨毛部ノ鬆粗ナル結締組織ニハ多數ノ大小種々ノ澱粉樣小體群在シ且「ケリア」細胞ノ破壊セルモノ多數存在ス。

第144例. 厨〇惣〇. 男. 38歳. 死後23時間剖検.

臨牀的診斷. 腦腫瘍.

剖検的診斷. 大脳腫瘍.

病歴. 4月10日飲酒後前頭ヲ打テ以來眩暈ヲ來ス. 其後症狀益々進行シ四肢運動不能トナリ, 眼瞼腫トシテ視力ノ減退ヲ來シ終ニ5月30日死亡セリ.

鏡檢所見. 脉絡上皮細胞ハ稍々規則正シク腫脹シ一般ニ疎ニ相隣坐セリ. 原形質ハ顆粒狀構造ヲ現ハシ, 末梢ニ大小多數ノ空胞ト黃色々素粒トヲ包藏セリ. 核ハ圓形ニシテ濃染セリ. 且上皮細胞中ニ前例ノ如キ巨大上皮細胞出現セリ. 絨毛基質ハ殆ド核無ク, 極メテ鬆祖ニシテ披裂及ビ包囊ヲ形成シ, 而モ高度ニ同質性トナレリ. 血管ハ充血著シク血管ノ周圍ニ稀ニ圓形細胞ノ小浸潤ヲ來セリ. 其他石灰沈着, 澱粉様小體及ビ少數ノ剝離上皮細胞存在ス.

第121例. 中〇文〇. 女. 27歳. 死後7時間剖検.

臨牀的診斷. 腦腫瘍.

剖検的診斷. (1) 左側硬腦膜ノ肉腫性浸潤. (2) 腹膜後, 縦隔膜及ビ氣管周圍腺肉腫.

病歴. 2月卵巣肉腫ノ手術ヲ受ケテ以來羸瘦シ, 9月1日入院ス. 21日突然發熱(38.4°C)シ意識渾濁ス. 腰椎穿刺チ行ヒシニ腦壓400 cm.ヲ算シ, 液ハ黃色透明, 淋巴球增多症アリ, 其後意識明カトナリシガ30日再ビ體溫39.2°Cトナリ昏睡狀態トナレリ. 之ヨリ先9月22日左眼失明シ, 24日左側顔面神經不全麻痺ヲ發ス. 10月2日嘔吐ヲ爲シ僅少ノ黑色血液ヲ混セリ. 10月5日死亡ス.

鏡檢所見. 脉絡上皮細胞ハ腫脹シ, 原形質ハ顆粒狀構造ヲ現ハシ黃色々素粒ヲ藏ス. 核ハ淡染又ハ濃染セリ. 又上皮間ニ巨大上皮細胞現ハレ血球數々介在セリ. 絨毛基質ハ核ニ乏シク甚ダ鬆祖ナリ. 基質ノ同質性高度ニシテ數々出血ヲ來セリ. 石灰沈着著明ナリ.

第134例. 長谷〇源〇. 男. 33歳. 死後3時間剖検.

臨牀的診斷. 硬腦膜內被細胞腫.

剖検的診斷. (1) 硬腦膜內被細胞腫(再發). (2) 一般大脳壓迫. (3) 側室部腦軟化.

病歴. 不詳.

鏡檢所見. 脉絡上皮細胞ハ變質甚シク核ハ圓形ニシテ淡染シ, 大ナル空胞ト黃色々素粒トヲ有ス. 上皮間ニ巨大上皮細胞存在ス. 血管壁肥厚シ石灰沈着ヲ來セリ. 絨毛基質ハ甚ダ鬆祖ニシテ而モ硬變高度ナリ. 絨毛外ニハ僅カノ剝離上皮細胞及ビ破壊産物存在ス.

第168例. 副〇儀〇. 男. 50歳. 死後17時間剖検.

臨牀的診斷. (1) 肝臓腫瘍. (2) 肺臓轉移. (3) 肝蛭.

剖検的診斷. (1) 肝及ビ脾臓ニ肝蛭存在ス. (2) 原發性肝臓癌腫. (3) 肝, 右副腎, 右腎, 腹膜後及ビ縦隔膜淋巴腺, 大脳及ビ小脳ノ轉移性癌腫(圓柱上皮癌).

病歴. 大正2年肝蛭ヲ病ム. 12年12月18日入院ス. 當時折々右肋弓下ニ壓痛アリ熱感ヲ伴フ. 次テ右下腹部ニ腫瘍ヲ觸診ス. 同年7月顔面及ビ手足ニ浮腫ヲ來シ腹水ヲ發ス. 8月ニ至リ皮膚黃染セリ. 大正13年1月來漸次羸瘦シ, 全身衰弱著明トナリ終ニ1月23日死亡セリ.

鏡檢所見. 脉絡上皮細胞ハ顆粒狀構造ヲ現ハシ, 大ナル空胞ト黃色々素粒トヲ有ス. 上皮間ニハ諸所ニ巨大上皮細胞存在ス. 絨毛基質ハ著シク鬆祖ニシテ數々披裂及ビ包囊ヲ形成シ且硬變高度ナリ. 血管ハ充血甚シク

「エオシン」嗜好細胞出現シ、又多數ノ澱粉様小體存在ス。

第四腦室ニ於ケル脉絡叢ハ側室ニ於ケルモノヨリ上皮細胞ノ黃色々素粒ヲ含有スルコト多量ニシテ且石灰沈着及ビ浮腫共ニ高度ナリ。澱粉様小體ハ少量ナリ。

上記5例ノ腦腫瘍ニ於テハ第144例ノ小ナル細胞浸潤及ビ第121例ノ出血ヲ除ケバ全ク浸潤及ビ出血ヲ缺グ。脉絡上皮細胞ハ一般ニ著シク腫脹シ、原形質ハ1例ヲ除ク他全ク顆粒狀構造ヲ呈シ空胞ヲ包藏セリ。且上皮間ニハ屢々巨大上皮細胞出現シ、殊ニ第157例ノ如キハ其數甚ダ多數ナリ。余ハ5例中全部ニ之ヲ檢出セリ。其他絨毛基質ノ浮腫及ビ血管ノ充血擴張甚ダ顯著ナリ。剝離上皮細胞ハ甚ダ僅少ナリ。

(六) 狂 犬 病.

第80例. 木○寅○. 男. 17歳.

臨牀的診斷. 狂犬病.

剖檢的診斷. (1) 急性實質性腦脊髓炎. (2) 急性滲出性腦膜炎.

病歴. 60日前、自家ノ犬ノ爲ニ左側拇指ヲ噛マル。該犬ハ直チニ獸醫ノ試験ヲ經タルニ異常ナカリシガ其後1週日ニシテ死亡セリ。患者ハ死前4日以來、全身違和及ビ輕熱ヲ來シ、7月4日ヨリ發作的ニ胸部ニ恐怖感ヲ訴ヘ、水ヲ飲マントスレバ痙攣ヲ發シ飲スルコト能ハズ。同日入院ス。當時前記症狀ノ外呼吸困難ヲ訴ヘ、不安ナリ、5日朝3時終ニ死亡セリ。

鏡檢所見. 叢絨毛ハ血管ニ富ミ充血顯著ナリ。脉絡上皮細胞ハ多數ノ黃色々素粒ヲ有シ殆ド其構造ヲ辨ゼザルモノアルモ一般ニハ上皮細胞ハ規則正シク腫脹シ、原形質ハ顆粒狀構造ヲ現ハセリ。

絨毛基質ハ甚ダ鬆阻ニシテ破裂及ビ包囊ヲ形成シ、諸所血管周圍ニ圓形細胞浸潤アリ、又到處大小出血ヲ來セリ。其他血管外被細胞増殖及ビ著シキ石灰沈着アリ。無絨毛部ノ鬆阻ナル結締組織ニハ顯著ナル細胞浸潤及ビ出血ヲ來シ無數ノ大型上皮様細胞群集シ稀ニ貪喰現象ヲ呈セリ。又多數ノ剝離上皮細胞存在ス。

第149例. 杉○芳○. 男. 43歳. 死後15時間剖檢.

臨牀的診斷. 狂犬病.

剖檢的診斷. (1) 急性實質性腦脊髓炎. (2) 心臟及ビ肝臓ノ實質性變性. (3) 肋膜ノ點狀出血、胃及ビ小腸粘膜出血、腰部ノ皮下出血. (4) 肺浮腫. (5) 急性胃腸加答兒.

病歴. 大正12年5月31日右前膊及ビ下腿ヲ犬ニ咬マレ、8月16日ニ至リテ肩、項部ヨリ右上肢ニ放散スル疼痛ヲ發ス。18日ヨリ輕度ノ呼吸困難ヲ來シ、19日夜ヨリ嚥下困難加ハル。20日朝ヨリ上記ニ症狀増進シ意識渾濁シ甚シク興奮ス。此日午後10時半死亡セリ。

鏡檢所見. 叢絨毛ハ充血顯著ナリ。脉絡上皮細胞ハ平等ニ腫脹シ且密ニ連リ相互ノ境界ノ不明ナル所アリ。原形質ハ一部ハ微細ナ網狀構造ヲ現ハシ、一部ハ顆粒狀ヲ呈セリ。而シテ多量ノ黃色々素粒ヲ有ス。

絨毛基質ハ核ニ乏シク且筋々鬆阻ニシテ硬變高度ナリ。石灰沈着少量ナリ。無絨毛部ニハ血管周圍ニ稍々著シキ細胞浸潤ヲ來シ、上皮様細胞出現シ、中ニハ貪喰作用ヲ呈セルモノアリ。又多量ノ澱粉様小體アリ。剝離上皮細胞又存ス。

狂犬病ハ其例僅カ2例ニ過ギザルモ兩者共ニ脉絡叢ニ著明ナル變化ヲ呈セリ。即チ上皮細胞ハ著シク腫脹シ、殊ニ胞體內ノ黃色々色素粒ノ極メテ多量ナルコトハ注目ニ値ス。腺上皮細胞ハ之等色素粒ニ被ハレテ、全ク其構造ノ不明ナルモノアリ。前例ハ17歳ニシテ後者ハ43歳ナルモ兩者共ニ極度ニ色素粒ヲ含有セリ。原形質ノ構造ハ顆粒狀ニシテ大ナル空胞ヲ見ザリキ。

絨毛基質ニハ數々出血ヲ來シ又圓形細胞ノ浸潤ヲ被レリ。殊ニ此細胞浸潤ハ無絨毛部ニ著明ニシテ多數ノ大型上皮様細胞群集シ、中ニハ貪喰現象ヲ現ハセルモノアリ。絨毛基質ハ殆ド核無ク鬆粗ニシテ血管ノ充血顯著ナリ。又石灰沈着著明ニシテ剝離上皮細胞モ亦多數存在セリ。

(七) 腐敗性膿毒症。

第66例。吉〇ハ〇。女。8歳。死後15時間剖檢。

臨牀的診斷。腐敗性膿毒症。

剖檢的診斷。(1) 右側傳染性骨盤骨髓炎。(2) 急性化膿性膀胱炎。(3) 右側第三、四、五肋骨及ピ口蓋骨々膜炎。(4) 粟粒膿瘍(心筋、肺、肝、大小腸粘膜、腎、甲狀腺、脾及ビ耳下腺)。(5) 急性化膿性炎症(膀胱、子宮腔、心臟内膜)。(6) 大脳充血。

鏡檢所見。叢絨毛ハ血管ニ富ミ充血著シ。脉絡上皮細胞ハ腫脹顯著ニシテ殆ド類圓形ナリシ、原形質ハ網狀構造ヲ現ハセリ。核ハ圓形ニシテ稍々「クロマチン」ニ乏シ、絨毛基質ハ稍々鬆粗ニシテ密ナル圓形細胞浸潤アリ、「プラスマ」細胞多數混在セリ。又小出血及ビ石灰沈着存在セリ。無絨毛部ニモ亦著明ナル圓形細胞浸潤ヲ來シ、尙ホ無數ノ多クハ大小空胞ニ滿サレタル大型上皮様細胞存在シ、中ニハ貪喰現象ヲ呈セルモノアリ。多數ノ剝離上皮細胞及ビ血球ノ絨毛外溢出等アリ。

第172例。田〇茂〇。女。51歳。死後6時間剖檢。

臨牀的診斷。(1) 氣管支喘息。(2) 鬱血肝。(3) 背部、腰部及ビ薦骨部骨髓炎。(4) 腐敗性膿毒症。(5) 膀胱炎。

剖檢的診斷。(1) 化膿性腦脊髄軟膜炎。(2) 肺結核。(3) 兩側癒着性肋膜炎。(4) 慢性間質性腎炎。(5) 膀胱炎。(6) 背部及ビ腰部座瘡。

鏡檢所見。叢絨毛ハ充血顯著ナリ。脉絡上皮細胞ハ疎ニ連リ、原形質ハ顆粒狀構造ヲ現ハシ大ナル空胞ヲ有ス。絨毛基質ハ甚ダ鬆粗ニシテ諸所血管周圍ニ稍著シキ圓形細胞浸潤ヲ來セリ。該浸潤細胞ハ主ニシテ單核白血球ナルモノ一部ニハ多核白血球ノ浸潤アリ。基質ノ硬變高度ニシテ石灰沈着又著明ナリ。無絨毛部ニモ一部ニハ多核白血球一部ニハ單核白血球ノ著シキ浸潤ヲ形成シ、大型上皮様細胞聚合セリ。貪喰現象ハ極メテ稀ナリ。其他澱粉様小體及ビ剝離上皮細胞多數存在ス。

腐敗性膿毒症ニ於テハ其變化稍々著明ナルモノアリ。脉絡叢絨毛ハ一般ニ充血顯著ニシテ、血管ハ擴張シ血球充滿セリ。腺上皮細胞ハ著シク腫脹シ、絨毛基質ハ甚シク

鬆粗トナレリ。而シテ 3 例共ニ諸所血管周圍ニ著シキ細胞浸潤ヲ來シ尙ホ其 1 例ニハ出血、他ノ 1 例ニハ化膿ヲ來セルモノアリ。無絨毛部ニモ同様ニ細胞浸潤顯著ニシテ化膿ヲ來セルモノモアリ。而シテ該浸潤ニハ多數ノ上皮様細胞ヲ混ズ。然レドモ其貪食現象ニ至リテハ甚ダ僅微ナリ。剝離上皮細胞及ビ血球ノ絨毛外溢出多數存在セリ。

其他破傷風數例ヲ檢シタルガ其 1 例ニ於テ無絨毛部ニ化膿ヲ來セルモノアリタリ。

(八) 腦炎及腦膜炎ノ類。

第 184 例。大〇憲〇。男。63 歳。

臨牀的診斷。嗜眠性腦炎。

剖檢的診斷。(1) 慢性圓質性腎炎。(2) 肺浮腫。(3) 肝及ビ脾臓ノ褐色萎縮。(4) 大動脈硬變其他。

鏡檢所見。絨毛基質ハ極メテ鬆粗ニシテ數々披裂ヲ形成シ、而モ硬變高度ナリ。血管ハ壁肥厚シ、一部ハ充血甚シク諸所ニ散在性ノ淋巴細胞浸潤及ビ小出血ヲ來セリ。其他血管外被細胞ノ増殖及ビ著明ナル石灰沈着アリ。脉絡上皮細胞ハ不規則ニ腫脹シ、原形質ハ顆粒狀構造ヲ現ハシ、數々突起ヲ有スル黃色色素粒ト大小空胞トヲ包藏ス。核ハ圓形ニシテ濃染セリ。剝離上皮細胞存在ス。

第 20 例。村〇健〇。男。生後 12 箇月。

臨牀的診斷。(1) 漿液性腦膜炎。(2) 腦炎。

剖檢的診斷。(1) 肝及ビ腎臓ノ脂肪變性。(2) 左心室肥大。(3) 胃加答兒。

鏡檢所見。脉絡上皮細胞ハ蜂窩狀構造ヲ現ハシ、大空胞ヲ有シ、核ハ濃染圓形ヲ呈ス。絨毛基質ハ鬆粗ニシテ血管周圍ニ僅少ノ白血球存在ス。殊ニ血管周圍組織著シク鬆粗トナリ其部ニ多數ノ大型單核細胞出現セリ。又血管充血シ結締細胞及ビ血管外被細胞ノ増殖ヲ來セル所アリ。無絨毛部ニモ淋巴細胞浸潤ヲ來シ、赤血球及ビ大ナル上皮様細胞存在ス。剝離上皮細胞ハ少數ナリ。

第 139 例。津〇美〇。男。35 歳。

臨牀的診斷。大腦腫瘍。

剖檢的診斷。右側小腦ノ限局性癒着性硬腦膜炎其他。

鏡檢所見。脉絡上皮細胞ハ著シク不規則ニ腫脹シ、高圓柱狀或ハ類圓形ヲナシ、原形質ハ顆粒狀構造ヲ現ハシ多量ノ色素粒ト稀ニ大ナル空胞トヲ有ス。核ハ圓形ニシテ濃染セリ。絨毛基質ハ殆ド全ク硝子樣變性ニ陥リ血管壁肥厚シ、血管周圍及ビ基質ニ諸所淋巴細胞ノ浸潤ヲ來セリ。殊ニ無絨毛部及ビ其境界部ニ於テ著シク密ナル細胞浸潤ヲ認ム。其他血管外被細胞ノ増殖ヲ來シ、石灰沈着、澱粉樣小體及ビ剝離上皮細胞存在ス。

第 31 例。穴〇正〇。男。生後 1 年 6 箇月。

臨牀的診斷。(1) 腦水腫。(2) 腦炎。

剖檢的診斷。(1) 漿液出血性軟腦膜炎及ビ腦水腫。(2) 急性加答兒性肺炎。(3) 急性化膿性氣管支炎。

鏡檢所見。叢ノ絨毛ニ富ミ充血顯著ナリ。脉絡上皮細胞ハ腫脹甚シク多クハ高圓柱狀ヲ呈シ、核ハ基底ニアリテ濃染シ圓形ヲ呈ス。原形質ハ蜂窩狀構造ヲ現ハシ、多クノ小空胞ノ集マレルガ如シ。絨毛基質ハ極メテ鬆

粗ニシテ披裂ヲ來シ、諸所血管周圍ニ散在性ノ細胞浸潤アリ。結締組織基質ノ著シク鬆粗トナレル部殊ニ血管周圍ニ於テハ大ナル上皮様細胞ノ存在セル所アリ。石灰沈着少量ナルモ一部ニハ結締組織ノ増殖ヲ來セリ。無絨毛部ニハ出血ヲ來シ、淋巴細胞、白血球等ノ浸潤ヲ見ル。剝離上皮細胞ハ少量ナリ。

第14例。岡○ユ○。女。生後7箇月。

臨牀的診斷。所謂腦膜炎？

第76例。泉藤○○。男。16歳。

臨牀的診斷。(1)流行性感冒。(2)嗜眠性腦炎。

以上腦膜炎、腦炎及ビ嗜眠性腦炎6例中始メノ4例ノミヲ詳述セシガ最後ノ2例モ亦前4例ト殆ド全ク同様ナル鏡檢上所見ヲ呈セリ。

要之、之等ノ場合ニ於テハ其變化甚ダ微弱ナレドモ、何レモ炎症性變化ヲ呈シ、絨毛基質殊ニ無絨毛部或ハ其境界部ニ於テ稍々密ナル圓形細胞浸潤ヲ來シ、時ニハ小出血ヲ發來セルコトアリ。結締組織基質ハ一般ニ鬆粗ナルモ、血管周圍ニ於テ殊ニ著シク鬆粗トナレル部ニハ多數ノ大ナル上皮様細胞ノ集マレルコトアリ。然レドモ貪喰現象ハ殆ド之ヲ見ズ。其他又數々血管ノ充血及ビ血管外被細胞ノ増殖ヲ來セリ。上皮細胞剝離モ亦數々見ラルル現象ナリ。

(以下次號)